

六 满蒙鉄道交渉ニ関スル件・六四五

七二六

通部技術会議ニ於テ決議ヲ終タル後交通總長ヲ経由シテ大總統ニ上申シ認可ヲ得ル手筈ナリト云ヘリ
想フニ支那政府カ第一ニ長洮線ニ嘱目セシ真意ハ本線ヲ以テ吉長鉄道ノ延長線トナシ全ク自國鉄道トシテ經營シ南滿鉄道ノ支線ト目スヘキ四洮線ノ速成ニ对抗セントスル所謂利権保持ノ見地ニ外ナラサルヘシ

然リ而シテ長洮、四洮ノ両線カ作戦上特タ經濟上殊ニ東蒙地方ノ開發並ニ我勢力ノ扶植上ヨリ考へ到底比較ノ問題タラサルハ明ニシテ此際支那カ長洮線ノ速成ヲ主張スルカ如キハ一顧ノ価値ナキニ似タリト雖モ而モ此主張カ利権保持ノ見地ニ基クモノトセハ亦事實上ノ一問題タラストセス

事項七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件

- 一 南萍鉄道
- 二 常玉鉄道
- 三 南潯鉄道
- 四 寧湘鉄道
- 五 安正鉄道

一 南萍鉄道

六四六 一月三日 阿部政務局長ヨリ
古市東亞興業社長宛

南萍鉄道借款ニ閥シ江西都督白耳義「シンジ

ケート」間協議中ナル旨内報ノ件

附記 大正元年十二月二十八日附朝日商会高木陸郎

ヨリ古市東亞興業社長死書信

南萍鉄道借款ハ我方ニテ獲得スル様注意アリ

タキ件

括啓陳者白耳義「シンジケート」ト江西都督トノ間ニ一千萬両ノ南昌萍鄉鉄道借款商議中ナル旨新聞電報アリタルニ付右事実ノ真相突止報告方十二月廿八日在上海有吉總領事及在漢口芳沢總領事ニ及訓電置候處同月卅日芳沢總領事ヨリハ右借款ハ江西鉄道会社側ヨリ白耳義「シンジケート」

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六四六

代表者「ジャドー」ニ申込ミ上海ニ於テ協議中ナル由聞込タルニ付目下取調中ナル旨一應電報有之又有吉總領事ヨリ

ハ同月卅一日該鉄道ニ閥シテハ曾テ李都督ヨリ孫逸仙ニ対シ同鉄道資金調達方ヲ依頼セシコトアルモ孫ハ同鉄道ノ如キ支那全國鉄道網ニ於テ枝線ニ閥スルモノハ交通部ニ照会スヘキ旨回答シタル趣ナリシガ十二月ニ入り都督ハ彭前江

西鉄道總監ヲ同鉄道總辦ニ任シ彭ハ嘗テ自己ト共ニ江西借款交渉ノ局ニ當リシコトアル軍務司長愈心麓ト同道數日前上京ノ途ニ就キタル趣ニテ其ノ目的ノ一ハ同鉄道ニ閥シ交通部ト交渉スルニアルモノノ如ク又新聞電報ニ所謂白耳義「シンジケート」トハ蔡柱臣等ノ主宰セル「ブリチッショ、ベルヂアム、シンジケート」ノ事ナルベク蔡ハ江西人ナル

七 華中及華南鐵道交涉ニ関スル件 六四六

ニ付其ノ間何等カノ關係アルモノト思考セラル旨回電有

之次テ本月一日同總領事ヨリ本件ニ關シ更ニ確聞スル所ニ

拠レハ前報ノ借款談ハ「ブリチッショ、ベルヂアム、シンジ

ケート」トハ目下交渉打切トナリ居ルニ依リ今回ノ借款風

説ハ在北京江西公益会副会長洪鑄（白耳義留学生出身者）ナ

ルモノ議員運動ノ人氣策トシテ南萍鐵道ニ関シ白耳義ヨリ

借款方江西實業交通兩司ニ建議シタル結果都督一派ハ一方

鐵道ノ寒測ヲナシ之ニ必要ナル経費ヲ定ムルノ議ヲ決スル

ト共ニ他方白耳義トノ借款交渉ノ任務ヲ洪鑄ニ委託セシコ

トアルニ基ケルモノ如ク洪鑄ハ目下江西ニアリ果シテ其

ノ交渉ヲ進メツ、アルヤ否ヤハ不明ナルモ若シ多少其ノ事

実アリトセハ前記江西公益会会长タル李盛鐸モ嘗テ白耳義

公使タリシ關係上之ト脈絡ヲ有スルモノト察セラル何レニ

シテモ本件ハ目下左程具体的ニ進行シ居ルモノトハ認メ難

キ旨電報有之候右不取敢御参考迄及御内報候 敬具

（附記）
南萍鐵道借款ハ我方ニテ獲得スル様注意アリ
タキ件

大正庚年拾弐月廿八日

乍去現在ノ如ク同借款問題ガ行惱ミ候為メ支那人側ヨリ邦

人ニ対スル厭忌ノ情昨今殊ニ目立チ申シ從テ前記南萍鐵路問題ノ急速ニ進行シ且ツ外資輸入ノ交渉ニ迄立チ到リ候事幾分邦人側ニ対スル反感反動ノ意味モ相加ハリ候

御承知ノ如ク南潯鐵路公司ハ所謂江西全省鐵路公司ノ変名ニシテ本線タル九江南昌線ノ外南昌ヨリ東西ニ分歧線ヲ出シツハ西方萍鄉ノ炭坑ニツハ東方広信ニ至リ玉山ニ於テ浙江鐵道ト連絡スル予定線ニ有之該線ハ英國勢力範囲タル揚子江ノ水運ヲ離レテ中央支那ト海岸ヲ連絡スル唯一ノ要路タル可ク此レガ何国ノ借款ニヨリテ建設セラル、カハ

一葦隔水ノ吾ガ國ニ取リテ尤モ注視ヲ要スル問題タル可キヤ疑無之候原来該線路ハ上述ノ如ク南潯公司ノ享有セル既得ノ権利ト称スルモ不可ナク始メ当事者ノ意衷ニハ當然此線路ニ要スル資金ハ日本ヨリ仰グ事ト彼我共ニ考ヘ居リタルモノナル可ケレド鐵路当事者ノ争権上自己本位ノ政策ト邦人借款ニ対シ反感的思想ヲ抱ケル等ノ事ヨリ從来ノ民有ヲ離レテ省有トナシ全然別個独立ノ公司トシ以テ南潯借款ニ拠ル法規上ノ拘束ヲ避ケントナシ居ルモノニ候ヘバ事ヲ

道義的友誼的ニ解釈シ交渉スルニ非レバ何共抗議交渉ノ余

七二八
上海
高木陸郎

東亜興業株式会社

社長 古市公威殿

七二九
上海
高木陸郎

拝啓

時下寒冷之候益々御清適之段奉万賀候陳者江西省南昌、萍鄉間ノ所謂南萍鐵道布設計画近時著シク進捗シ一方外國借款仮契約ノ成立伝ヘラレ候ト共ニ他方鐵路新公司ノ活動頻リニ相聞エ申候此線路ハ普通貨物以外ニ萍鄉石炭ヲ一路直チニ九江ニ輸送シ得ベキモノナルガ故ニ一般ニ氣受ケ頗ル宣敷慥カニ特色アル一線路タル可シト存申候然ルニ此線路ハ原來南潯鐵道ノ予定延長支線ニ屬ス可キモノニ有之吾國ガ已ニ南潯鐵道ニ放資致候以上江西省一帶殊ニ此南萍線ノ如キハ是非共吾勢力下ニ置カザル可カラザルモノニ有之候故ニ若シ南潯借款問題ガ円滑ニ進捗致候ヘバ同契約第八条ノ

鉄路公司如欲續借款項之時可仍向東亜興業會社商酌ノ意ヲ広義ニ解シ彼我ノ円満ナル談笑裡ニ予定線ニ対スル特權ヲモ吾權力下ニ置候事敢テ難事ニ無之ト存候

地ナカル可シト案ジ居ル次第ニ

而シテ折角南潯間ヲ邦人ノ手ニ收メ候共此南萍線ヲ他外国ニ委ネ候テハ江西省方面ニ対スル邦人ノ企劃上遺憾ノ極ニ有之候間此際何トカ便法ヲ以テ南潯借款問題ヲ迅速ニ解決シテ支那人側ノ信賴ヲ深カラシメ他方此ノ南萍鐵路計画ヲ外人ノ手ヨリ吾ガ掌裡ニ収メ度希望罷在候依テ最早御聞及トハ存候得共尚一層該南萍鐵路問題ニ就キテ御注意ヲ喚起シ度御参考ノ一助トモ相成ラバ幸甚ノ至リニ候

勿々敬具

六四七 一月七日 在上海有吉總領事ヨリ

南萍鐵道敷設及借款ニ關スル狀況報告ノ件

附屬書

江西省實業及交通兩司提出ノ南萍鐵道敷設建
議案訟文

機密第一号

大正弐年一月七日

在上海

總領事 有吉 明（印）

七 華中及華南鐵道交涉ニ關スル件 六四七

南昌萍鄉鉄道ニ閣シテハ御訓電ノ次第モ有之候ニ付不取敢
昨年往電第二七九号及第二八〇号ヲ以テ及電報置候元来本
鉄道ハ已ニ前清時代ニ於テ数年前ヨリノ問題タリシモ今日
迄何等具体的計画案立チ居ラサリシ處革命事変以來江西省
当局者側ニ於テ実業發展ノ見地ヨリ本鉄道ノ計画ヲ企テツ
、アル際在北京江西公益会副会長洪鑄（江西人ニシテ白耳
義留学生出身洪ノ同会副会長タリシハ陳三立ノ推挙ニヨル
モノニシテ陳ハ洪ノ親戚タル前陝甘總督毛実鈞ト親密ナル
友人ノ間柄ナリト云フ而シテ公益会々長ハ李盛鐸ナリ）カ
南萍鉄道敷設ニ白耳義借款意見ヲ立テ、江西實業司及交通
司ニ商議シタル結果兩司ヨリ右商議ニ基キ南萍鉄道敷設案
ヲ李都督ニ建議シ遂ニ昨年十一月三十日南昌ニ於テ李都
督主席トナリ江西省特別政務會議ヲ開キ（萍鄉炭礦）南潯
鉄道問題（地方官制案）第一期預算不足補救案等ヲ討議シ
最後ニ（右南萍鉄道敷設案ヲ提出シ商議ノ結果現ニ南潯鐵
路公司ヨリ南萍線測量ノ為メニ派遣セル調査員ノ調査ヲ俟
チ該線敷設費見積額ノ決定シタル上更ニ洪鑄ニ對シ白耳義
借款ノ籌議方ヲ委任シ一面交通部ニ對シ該鉄道ノ敷設辦法
ヲ商議シ一面省議会ニ對シテ該鉄道案ヲ提出シテ其議決ヲ

ノ権限ニ属スルヲ以テ同部ト可然商議ヲ行ヒ一面先シ該線
路ノ敷設見積額並ニ経過地方ノ情況等確実ナル調査ヲ行ヒ
タル上地図ヲ附シ詳細本公司ニ報告スベシト回答シ置キタ
ルモ其后未タ何等ノ報告ニ接セサル為メ該鉄道ノ最近狀況
ハ判明セス又白耳義借款ノ如キモ何等聞知スル処ナキモ今
后本件ニ付キ探知スル処アラバ伝達スベシト陳述シタル由
ニ有之候

之レヲ要スルニ本件鉄道ノ敷設並ニ借款ニ關シテハ今日迄
ノ處未タ何等具体案ナルモノ立チ居ラサルモノト認候モ早
晩其敷設案ナルモノ成リ次イテ外国借款ノ商議ニ進ムモノ
ト被存候間若シ本邦側ニ於テ投資ノ希望アルニ於テハ可成
早ク相当運動ヲ開始スルノ必要可有之ト思考致候而シテ江
西省実業交通両司ノ提出シタル南萍鉄道敷設建議案ハ昨年
十二月上旬末ニ当地新紙ニ掲載有之候間茲ニ御参考迄ニ訛
出シテ別紙添付致候右建議案中ノ一部ニヨルモ洪鑄ガ白耳
義借款ヲ主張セル一端ヲ窺知セラレ候尚ホ本件ニ關スル今
后ノ成行ニ就テハ十分ニ注意可致モ不取敢此段報告申進候

敬具

追テ本信写ハ北京公使及漢口総領事ニ及送付候

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六四七

経ルコトハナリ而シテ前江西都督タリシ彭程万及洪鑄等ハ
南萍鉄道創立委員ニ推挙セラレタル趣ニ有之候
而シテ該鉄道ノ白耳義借款ニ關シテハ目下当地ニ滯在中ナ
ル劉樹堂（芋珊ト号シ江西人事變後江西都督ヨリ萍鄉礦山
委員ニ任命セラレシ人物）カ万才美（江西人ニシテ目下當
地ニ在リ）等ニ対シ白耳義資本家側ヨリ借款セントノ希望
ヲ陳述シテ多少商議ヲ進メント計リツ、アル模様アルモ劉
樹堂ハ到底責任ヲ以テ本件借款交渉ニ当ル丈ノ人物ニ無之
ト該鉄道案ノ状態上述ノ次第付未タ具体的ニ進行シ居ル
モノトハ目下ノ処認メ難ク候

又本件鉄道ニ閣シ館員ヲシテ夫レトナク孫逸仙ニ探聞セシ
メシニ孫ノ内話ニヨレバ江西鉄道公司側ヨリ南萍鉄道敷設
並ニ借款方ニ付キ嘗テ書面ヲ以テ依頼アリシモ予力管理ニ
属スル中国鉄路公司ノ詳細章程ハ未タ參議院ノ議決ヲ経サ
ルト江西鉄道公司ノ計画セル鉄道線路ノ多クハ支線ニ属ス
ルヲ以テ予ガ直接ニ關係スル線ニアラズ尤モ南萍線ノ如キ
ハ本公司ノ籌辦スル幹線ト抵触スルモノニアラサルヲ以テ
江西側ニ於テ借款方ヲ本公司ニ委託スルニ於テハ代リテ籌
画ヲ計リテ差支ナキモ該鉄道ノ敷設許可等ハ何レモ交通部

（附屬書）

江西省實業及交通両司提出ノ南萍鉄道敷設建

議案訳文

江西省實業交通両司ノ南萍鉄道敷設意見書ニ曰ク江西省ハ
北ハ安徽省ニ連リ西ハ湖北湖南ニ接シ東ハ浙江、福建ニ隣
シ南ハ廣東ニ通スル天然ノ腹地ニシテ实ニ東南各省ノ中心
点タリ從前ノ計画線タル（九江南昌線）（南昌萍鄉線）（瑞州
贛州線）南昌建昌線ノ四線合計一千八百余里ノ九南線ハ九年ノ久シ
ヲ得サリシガ為メ区々タル武百余里ノ九南線ハ九年ノ久シ
キニ亘リテ尚未竣工セサリシモ今回借款成立セルガ故
ニ遠カラズ開通ニ至ル可シ是レヲ以テ從前ノ計画線ニ改正
ヲ加ヘ更ニ左ノ新計画線ヲ敷設セントス

第一線 贛粵鉄道（一千五百華里）九江ヲ起点トシ南

昌贛州及南康ヲ經テ梅嶺ヲ越ヘ廣東韶州ニ至リ
テ粵漢鉄道ニ接続ス

第二線 南萍鉄道（四百華里）南昌ヨリ贛粵鉄道ニヨ

リテ臨江ニ至リ西行シテ袁州ヲ經テ萍鄉ニ至ル
第三線 賢閩鉄道（四百華里）南昌ヨリ東南シ撫州、
新城ヲ經テ福建省邵武ニ入り福建北線路ニ接続

ス

第四線 賴皖鉄道（五百華里） 南昌ヨリ東シ安仁景德
鎮ヲ經テ安徽省ニ入り祁門ヲ經テ蕪広鉄道ニ接
続ス

第五線 賴浙鉄道（五百五十華里） 安仁ヨリ東ニ分レ
テ貴溪、広信ヲ經テ浙江省ニ入り常山県ニテ浙
江第一線ニ接続ス

第六線 賴潮鉄道（四百華里） 南昌ヨリ贛閩鉄道ニヨ
リテ建昌ニ至リ分レ南折シ遙ニ贛寧鉄道ト平
行線トナリ広昌寧都ヲ經テ福建省ニ入り汀州ヲ
経テ更ニ廣東省梅州ヲ經テ潮州ニ至リ潮汕鉄道
ニ接続ス

以上六線ノ計画ハ四線ノ旧計画ニ比シ稍々周密ナリ而シテ
南潯鉄道不日竣工スト雖モ若シ南萍鉄道ニ接続スルコト能
ハザラバ社會各種ノ事業ニ發展ヲ來スコト不可能ナリ試ミ
ニ其密接ナル關係ヲ有スルモノヲ挙ゲンカ九江ハ江西ノ門
戸タリ小蒸汽船ノ航行アリテヨリ鉄道ノ便ナシト雖モ交通
至便ナリ而シテ南昌ニハ特記スルノ產物ナクシテ其他ノ各
府ニハ物産アリト雖モ運載ニ便ナラス之レヲ以テ南潯ノ一

線開通ストモ僅カニ三百華里内ノ交通ニスキシテ利益ヲ
得ルノ僅少ナルハ蓋シ明ナリ然ルニ若シ南萍鉄道ニシテ開
通スルニ至ランカ省内ニ於テハ臨江、袁州、萍鄉各地ノ貨
物ヲ集メ外省ニ於テハ長沙各府ノ貨ヲ吸集シテ径路九江ニ
出ヅルヲ得ルヤ必セリ即南萍鉄道ハ南潯ノ死線ヲ活線ニ転
スルモノナリ此レ南萍鉄道ヲ急設セントスル理由ノ一ナリ
萍鄉炭礦ハ本省土地及政治經濟上ニ關係ヲ有スルヲ以テ本
省ノ投資ニヨリ維持セザル可ラサルモノナリ然ルニ株主及
工商部ハ又多ク誤会シテ尚未タ如何ナル結果ヲ來スヤ知ル
可ラス現ニ實業司人ヲ派シテ調査セシメタルニ炭礦ノ外五
金ノ礦尚多シ而モ土地湖南ニ接近セルガ為メ萍鄉ハ江西省
ニ属スト雖モ多ク湖南省ニ利益ヲ占メラレ江西省首府トハ
土地遠隔シ長鞭及バサルノ觀アリ然ルニ南萍鉄道ニシテ成
ランカ交通至便トナリ江西省ニ勢力發展ニ益スルコト多ク
天然ノ利源ヲ坐視シテ外省人ノ優先ニ任スルノ必要ナキニ
至ル可シ之レ南萍鉄道ヲ急設セントスル理由ノ一ナリ
且ツ南萍鉄道ニシテ開通センカ必ス利益ヲ得将来余利ヲ以
テ他ノ各線拡張ヲ計ルニ着手シ易シ然レトモ現在財政窮乏
ノ際ナルヲ以テ此レガ敷設費ハ外國借款ニヨルノ外ナシ而

シテ前ニ成立シタル日本興業会社五百万元ノ借款商議ニハ
種々困難ヲ來シタルニ鑑ミ世界各國中永遠中立的地位ニア
リ領土的主義ヲ有セサル白耳義ヨリ借款スルヲ得策トス現
ニ白国留学生出身ナル洪鑄君ノ報告ニヨレバ白耳義國ノ借
款ヲナシ得ベシト若シ之レト商定シテ八百万両ヲ借款シ専
ラ南萍鉄道敷設費ニ當テバ政治問題ヲ含ムニ至ラスシテ比
較的容易ニ商議纏ルベシト思考セラル或説ニヨレバ外債ヲ
借ルハ國家ノ前途ニ危險多シト云フモ是生産事業ニ借債ス
ルト不生産事業ニ借債スルト混同シタルモノニシテ若シ
生産事業ノ借債ハ必スシモ國家ノ前途ニ危險ヲ招クノ慮ナ
シ若シ本件ニシテ可決ヲ得バ更ニ適當ナル辦法ヲ擬訂シテ
都督ニ稟請シテ本件鉄道ノ敷設ヲ計ル可シ茲ニ南萍鉄道數
設建議案ヲ提出シテ公決ヲ請フコトスクノ如シ

尚南萍鉄道敷設意見書已ニ脱稿シタルニ際シ都督ヨリ交付
セラレタル趙世瑄（南潯鉄路公司總理）、歐陽彥謨兩君ノ
書面中ニ南萍線路測量ノ一件アリ其意見両司ト相同シキヲ
以テ特ニ左ニ記載シテ参考ニ供ゼン

查スルニ南萍鉄道ハ上粵漢ニ直接シ下南潯ニ直通シ商務
ヲ発展スルニハ腹地ヲ貫通スル本鉄道ニヨラサル可ラス

若シ本鉄道開通ヲ見ンカ萍鄉ノ炭礦ハ直接ノ利益ヲ受ケ
安源山ノ礦物運輸ハ必ス本鉄道ニヨリ間接ノ利益ヲ受ク
ルコト少カラス然レトモ本鉄道ノ敷設ヤ事体重大ニシテ
資金調達頗ル困難ナルモ何レニシテ将来必ス敷設スルノ
要アルヲ以テ先ツ少額経費ヲ以テ行ヒ得ル線路ノ測量敷
設地ノ購入ヨリ着手セサル可ラズ而シテ測線購地ヲ終ラ
バ資金調達ノ出来次第直ニ工事ヲ開始スルノ便宜アリ尤
モ南萍線ニ闊シテハ左ノ三線アリ

(一)萍鄉ヨリ袁州分宜県臨江府樟樹鎮ヲ經テ南昌ニ至ルノ
一線

(二)袁州ヨリ瑞州ヲ經テ南昌ニ至ルノ一線

(三)袁州ヨリ吉安ヲ經テ南昌ニ至ルノ一線

而シテ右三線中第一線タル臨江府ヨリ萍鄉ニ至ルノ線路ニ
ハ高山大河ナク工事甚タ容易ナリ第二線タル瑞州經過線ハ
山勢崎嶇シ工事困難ナルモ距離短ク第三線タル吉安經過線ハ
ハ往復ニ贛河ヲ渡ルノ要アリ鐵橋架設ニ多大ノ経費ヲ要ス
ルモ吉安贛州上流地方ノ貨物ヲ吸集シ且ツ廣東鉄道ニ接続
スル線路ノ準備ニ供スルノ便宜アリ斯クノ如ク三線トモ一
利一害アリテ何線ヲ以テ尤モ適當ナルカハ専門技師ヲ派遣

七 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 六四八 六四九

七三四

シテ測量調査ノ上ナラデハ決定シ難シ是レヲ以テ南潯鐵道

公司ヨリ技師ヲ派遣シテ測量シ其測量経費二千元ハ差当リ

萍鄉礦局ヨリ支出セシメ地図及詳細調査報告アリタル上更

ニ購地辦法ヲ定メ稟請ス可シ云々

六四八

一月十三日

桂兼任外務大臣ヨリ
在上海有吉總領事死（電報）

南萍鐵道借款ハ我方ニ申込マセタキニ付事態

注視方訓令ノ件

第三号

御承知ノ通江西借款トノ關係モアリ旁南昌萍鄉鐵道借款談

愈々事実ト成ル場合ニハ先方ヲシテ先ヅ我方ニ話ヲ持込マ

セ度希望ナルニ付其含ニテ本件発展御注意相成様致度シ

右本大臣訓令トシテ北京 漢口ヘ転電アリ度シ

六四九

一月十四日

井上正金銀行副頭取ヨリ
阿部政務局長宛

南萍鐵道白耳義借款説ニ閲スル李盛鐸談話報

告ノ件

附屬書 一月七日附在北京小田切取締役ヨリ本店宛來

翰抜萃

第六二号 外務省政務局長 阿部守太郎殿 横浜正金銀行 副頭取 井上準之助（印）

大正式年一月十四日

拂啓

在北京弊行小田切取締役報告中萍鄉南昌間鐵道借款ニ閲スル件御参考ニモ可相成ト存候ニ付キ別紙ノ通寫作製供高覽

候 敬具

（附屬書）

大正二年一月七日付在北京小田切取締役來翰

拔萃

近來上海ニ於テ萍鄉南昌間鐵道借款ニ閲シ白耳義ト交渉シツ、アルノ風聞有之候處本鐵道ニ閲シテハ客歲本役ト盛宣懷トノ間ニ商議セシ次第モ有之又本邦ハ既ニ九江南昌鐵道及漢治萍公司ニ投資セシ成行上右借款問題ハ本邦ノ利益關係重大ナルヲ以テ可成丈或ル方法ヲ以テ本邦ヨリ資金ヲ供給致度考へ帝国公使ニモ稟議ノ上実相寺支配人ヲ天津ニ派遣シ江西省ノ先輩タル李盛鐸ヲ訪問セシメ同人意見ヲ叩カ

京ノ上其実否ヲ確ムヘシ

是ニ於テ小生ハ一昨年盛宣懷氏カ郵伝部大臣タリシトキ同鐵道ニ閲シ再三商議スル所アリ契約草案ハ出来セサリシモ双方ノ間ニ略意見ノ一致ヲ見タルトキ不幸革命ノ為メ其目的ヲ達スルコト能ハサリシモ常ニ其復活ヲ念頭ニ置キタリ然ルニ突然右鐵道ニ閲シ白耳義借款ノ開始サル、ヲ聞キ誠ニ黙スル能ハサルモノアリテ露國ノ対蒙策ヨリ我カ対東三省策ニ及ヒ将来日支ノ親善ヲ謀ルハ實業上ノ聯合ヲ鞏固ニスルヨリ他ニ良策無キヲ説キ此点ニ於テ既ニ日支親善ヲ形成スルニ最モ關係深キ漢治萍公司ニ對スル貴國新近ノ出来事ハ頗ル我カ朝野ノ感情ヲ害シ甚タ面白カラサル際ニ於テ既ニ九江南昌鐵道ニ投資セル我國ヲ差措キ其連絡線築造ノ資金ヲ白耳義ニ仰クカ如キコトアラハ此際一層日支兩國ノ感情ヲ阻礙スルコトアルヲ恐ル、者ナリ況ヤ同鐵道沿線ニ產スル鐵礦石炭ノ如キハ其販路ヲ日本ニ開ク必要アルヘク将来江西省ト日本トノ實業上ノ連絡ハ益々親密ヲ加ブルモノアルヘント説キタルニ李氏ハ頗ル贊成ノ意ヲ表シ充分尽力スヘキ旨ヲ答へ且今朝江西ヨリ財政部泉幣司員洪鑄ナ

ク果シテ右鐵道借款交渉起リタリトスレハ多分江西ニ於テ談判ヲ始メタルモノナラン若シ愈々商議ニ着手シタリトスレハ北京ニ一二ノ代表ヲ派遣スルコトナルヘク近日自分普

七 華中及華南鐵道交渉ニ關スル件 六四九

七三五

ベキ件

七三六

ントテ李氏ヨリ洪氏ヘ其事ヲ質シタルニ何ソ計ラソ洪氏ハ此度革命當時五日間江西都督ニ任セラレシコトアリ彭程万

氏ト共ニ右鉄道創立委員ニ挙ケラレ南京ヲ經テ当地ニ帰任ノ途次偶然李氏ヲ訪問セルモノナリトテ同氏ヲ紹介サレタレハ更ニ洪氏ニ就キ右鉄道借款ノ模様ヲ尋ネタルニ同氏カ約一ヶ月前江西ヲ出発スルトキニハ何等借款ニ就キ聞知スル所ナカリシ又南昌ヨリ萍鄉迄ノ距離ハ四百数十清里ニシテ工費約八九百万両ヲ要スヘキモ未タ測量モ終ラサルコトナレハ借款ハ自分北京へ帰任ノ上ニテ江西へ交渉スルコトナルヘシトノ旨ヲ述ヘタリ是ニ於テ小生ハ李氏並ニ洪氏ニ対シ将来相提携シテ日支ノ為メ実業上ノ聯絡ヲ謀ルコトヲ希望シ北京ニ於テ再会ヲ約シ暇ヲ告ケタリ

右洪鋗氏ハ曾テ日本ニ留学シ大阪高等工業学校ニモ入学シタルコトアリ多少ノ日本語ヲ解ス其後歐洲ニ至リ李氏カ駐劄白耳義公使タリシトキ其ノ許ニ隨員トナリタルコトアリ後白耳義大学ニ経済学ヲ修メタリト云フ

六五〇 一月十五日

在中國伊集院公使ヨリ
桂兼任外務大臣宛(電報)

南萍鉄道借款ハ日英共同事業トスルヲ可トス

在上海總領事宛貴電第三号ニ閑シ本使自ラ李盛鐸ニ會見スルノミナラス小田切実相寺ノ兩人ヲシテ接触ヲ保タシメツシアル次第ナルカ李ハ其後洪鋗等ト共ニ北京在住江西有力者ヲ集メ内議ヲ凝ラシタルニ日本排斥ノ感情按外強ク此際南萍鉄道ニ日本資本ヲ用ユルコトニ反対スルモノ尠カラサル由ニテ李ハ此際寧ロ日英聯合ノ資本ヲ用ユル方可然トノ意見ニテ都合ニ依リテハ自ラ香上銀行側ニ話ヲ試ミテモ苦シカラスト申出タルモ小田切ハ暫時差控フヘキ旨答へ置キタル由ナリ

然ルニ今度倫敦へ赴クコトトナリタル「メーヤース」ハ一月十三日小田切ト会談ノ際支那ニ於ケル日英資本共同ノ必要ヲ論シタル序ニ南萍鉄道ニ言及シ該鐵道ニ閑シテハ盛宣懷在職中「メーヤース」ノ手ニテ借款ノ相談ヲ進メテ將ニ契約締結セントスル兩三日前盛ノ失脚ノ為成立セサリシ次第ヲ説明シタル由ナリ

右ノ事情ヨリ察スレハ該鐵道ニ閑スル英國側トノ交渉ハ尚未タ全ク断絶シ居ルニアラサルヤノ疑アリ且台灣銀行「ボ

イコット」等ニ徵スレハ江西ニ於ケル日本反対感情モ強チ

李等ノ申訳ノミトモ認メ難キニ付寧ロ此際英國側ト意見ヲ

交換シ日英共同事業トナスニ於テハ円満ニ成立シ得ルナランカト思料ス

六五一 一月十八日

桂兼任外務大臣ヨリ
在中國伊集院公使宛(電報)南萍鉄道借款中國白耳義間協議進行セサル様
配慮方訓令ノ件

第三五号

二付我方一手引受ハ困難ナル件

第六四号

南萍鉄道借款ノ件ハ往電第三九号及第四九号等ノ弱味モアリ此際本官ヨリ直接交通部當局へ打出スモ妙ナラスト存シ居リタル折柄芳沢往電第七号末段ノ次第モアリタルニ付確否ヲ確メ旁一面ニハ趙秉鈞等ノ側ヨリ裏面ノ尽力ヲナサシムルコト可然ト思考シ一月十九日高尾書記官ヲ同官ノ下ニ遣ハシタルニ会々交通部總長朱啓鈴來合セタルヲ以テ高尾ハ兩官ニ對シ日本カ江西鐵道ニ對スル從来ノ關係ヲ説明シテ南萍鉄道敷設ニ就テハ是非トモ日本資金ヲ用ユル様考量アリタキ旨ヲ述ヘタルニ朱ハ南萍鉄道資金ニ對シテハ既ニ一昨年中盛宣懷ト英國公使トノ間ニ曾テ蘇杭甬鐵道ノ為借入タル英國資金ヲ流用スルコトニ略ホ決定シ草約出来上リタル所革命事件ノ為実行ニ至ラス爾來其價トナリ居ル行懸等アル為遽ニ日本ト相談スルコトモ相成リ兼ヌルト答ヘタルニ付高尾ハ本官ノ旨ヲ含ミ時局ノ推移ニ伴ヒ日支兩國實業上ノ聯絡ヲ計ルコトノ急務ナル旨ヲ篤ト説明シテ本件鉄道借款ニ就テ何レ小田切ヲシテ直接貴下ト相談セシムヘキ

右貴電第三九号及第四九号ト共ニ上海漢口へ転電アレ

六五二 一月十九日

桂兼任外務大臣ヨリ
在中國伊集院公使(電報)

南萍鉄道借款ハ曩ニ英國側トモ交渉アリタル

七 華中及華南鉄道交渉ニ閑スル件 六五二

七三七

七 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 六五三 六五四

旨ヲ答ヘタル趣ナリ右ノ次第ニテ本件ハ英國トノ関係上到底日本一手ニテ引受クルコト困難ナリト思考セラル
上海漢口ヘ電報済ミ

六五三 一月二十一日 在中國伊集院公使ヨリ

桂兼任外務大臣宛(電報)

南萍鐵道借款ヨリ英國側ヲシテ手ヲ引力シム
ルコト困難ナルベキ件

第七号

貴電第三五号ニ關シ小田切ハ重ネテ「メーヤス」ト會見シ
白耳義側借款運動ノ模様ニ依リテハ日本側モ相当ノ措置ヲ
執ラザルベカラザルヤモ計リ難キ旨ヲ語リタルニ「メーヤ
ス」ハ從来英國側トノ行懸リモアリテ契約モ存案セルコト
ナレバ自分ニ相談セズシテ他ヨリ借款スルコトハ出來ザル
筈ナリト云ヘルニ付小田切ハ試ミニ日英共同投資ノコトハ
如何ト尋ネタルニ同人ハ他国ト共同ハ断然不可ナルガ日本
トナラバ自分一己ノ意見トシテハ賛成ナリ但シ斯ル重要ナ
ル件ハ倫敦本部ノ決定ニ待タザルベカラザルハ勿論ナレバ
若シ必要トアラバ自分倫敦着ノ上本部ノ意図ヲ伺ヒテ電報
スペシト云ヘルニ付小田切ハ當方心得ノ為メ本部ノ意図承

附記 南萍鐵道ニ關スル外務省方針案

拝啓御來示の南萍鐵道に関する方針當省に於て全然同意に
有之白岩の件は一応正金銀行をして小田切に心得させ置必
要有之其上にて致度候黃海渤海漁業権問題に付御承知の日
高氏を中心として經營せしむる事必要と存じ内々相談致し
たるに同氏も奮發すべき模様故貴省へ罷出候節は經營可然
旨御獎励置被下度候余情期拝光候草々不一

一月廿二日

主計

倉知老台

侍史

(附記)

南萍鐵道ニ關スル外務省方針案

一、南萍鐵道ハ曩ニ我資本ヲ投下セル南潯鐵道ト我ニ於テ
重大ナル利害關係ヲ有スル萍鄉トヲ聯絡シ且粵漢鐵道

ト通スヘキ極メテ重要ナル線路ナルヲ以テ此際我ニ於
テ是非共本鐵道ト密接ナル關係ヲ結ヒ置クコト

二、本鐵道ハ延長約百八十哩ニシテ工事費約八九百万兩ヲ
要スル見込ナル所我ニ於テ先ツ何等カノ方法ニ依リテ

七 華中及華南鐵道交渉ニ關スル件 六五五

七三八

知シタシト依頼シ置キタルモ「メーヤス」ノ語氣ヨリ見レ
バ英國側ヲシテ手ヲ引力カシメ我方ノミニ独占ハ到底六ヶ敷
キ模様ナル由

尚ホ実相寺ハ一月十九日香上銀行買辦ヲ訪ヒ李盛鐸ト交渉
ノ様子ヲ探リタルニ一月十八日同人ヨリ李盛鐸ニ對シ江西
省計画ノ南萍鐵道ハ交通部ノ事業ニアラズ地方的事業ナレ
バ左記諸点ニ特ニ注意ヲ要ス

(1)全線ノ工事ヲ外國技師長ノ設計監督ノ下ニ置クコト

(2)外國人ノ會計監督ヲ置クコト

(3)鐵道運輸事務ヲ外國人監督ノ下ニ置クコト

(4)担保ハ日本九南借款ノ如ク鐵道材料ニ限ラズ全然鐵道其
物タルベキコト

右四点ニ關スル江西側ノ意見ヲ確メタル上ナラデハ資本家
間ノ商議ニ上セ難シト申入レタル趣ヲ語リタリト云フ

上海漢口ニ電報済

六五四 一月二十二日 滬田大藏次官ヨリ

南萍鐵道ニ關スル外務省方針案ニ大藏省同意
ナル件

以上

註 右ハ一月二十日外務省政務局ニ於テ起草セラレ倉知外務
次官之ヲ勝田大藏次官ニ内示シタル後一月二十三日關係
者三田桂郎ニ會合シ協議ノ上其ノ假決定シタリ尚右文書
ノ冒頭余白ニ外務省事務當局ニ依ル左ノ書入アリ
「外相御閲讀スミ、御同意トノコト」

六五五 一月二十四日 在中國水野臨時代理公使ヨリ
桂兼任外務大臣宛(電報)

南萍鐵道借款ハ英國側同意ナラバ日英共同二

テ差支ナキ旨朱交通總長談話ノ件

七三九

一月二十一日小田切ハ交通總長朱ヲ訪ヒ日支実業連絡ノ必
要ヨリ日本ハ九南鐵道ニ放資セル關係モアレハ殊ニ南萍鐵
道ヲ引受ケタシ然ルニ英國側ハ蘇杭甬鐵道借款ヲ南萍鐵道
ニ移用セントスル考アル由ニ付「メーヤース」ニ對シテハ
既ニ日英共同引受方申込ミ置キタルコトヲ述ヘ一昨年小田
切ト盛宣懷ト相談ノ次第ヲ話シタルニ朱曰ク南萍鐵道ニ付
テハ改革以前英國公使ノ周旋ニ依リ蘇杭甬借款流用ノ事ニ
略ホ決定シ居リタル處此程浙江ヨリ成ルヘク速ニ實行方申
出タルニ付「メーヤース」ニ決行ヲ促シタルモ彼ハ帰国相
談ノ上ナラデハ決定シ難シト答ヘタリ右様ノ行懸アルニ付
南萍鐵道ヲ日本ノミニ任スコトハ困難ナルモ英國ニシテ日
英共同ニ同意スルニ於テハ支那側ニ於テハ勿論差支ナシト
答ヘタリ小田切ハ日英共同ノ件ハ支那側ヨリ「メーヤー
ス」ヘ申込マシムヘキコトヲ再三勧告シタルモ朱ハ明答
ヲ与ヘサリシト

朱ハ江西鐵路公司ガ最初日本國ヨリ借款シタル由ナルモ中
央政府ヘ届出モ認可申請モ為ササルハ不都合ナリト云ヘリ

小田切ハ日本ノ希望スル鐵道事業ハ南萍鐵道ノミナラス南
英共同ニ同意スルニ於テハ支那側ニ於テハ勿論差支ナシト
答ヘタリ小田切ハ日英共同ノ件ハ支那側ヨリ「メーヤー
ス」ヘ申込マシムヘキコトヲ再三勧告シタルモ朱ハ明答
ヲ与ヘサリシト

朱ハ江西鐵路公司ガ最初日本國ヨリ借款シタル由ナルモ中
央政府ヘ届出モ認可申請モ為ササルハ不都合ナリト云ヘリ
小田切ハ日本ノ希望スル鐵道事業ハ南萍鐵道ノミナラス南
英共同ニ同意スルニ於テハ支那側ニ於テハ勿論差支ナシト
答ヘタリ小田切ハ日英共同ノ件ハ支那側ヨリ「メーヤー
ス」ヘ申込マシムヘキコトヲ再三勧告シタルモ朱ハ明答
ヲ与ヘサリシト

次第モ有之候處同鐵道ノ性質ニ鑑ミ帝國政府ニ於テハ我ニ
於テ先シ何等カノ方法ニ依リ之ガ敷設ニ關係シ且之ニ要ス
ベキ資金モ出来得ル限り我ヨリ供給スルコトシ尚資金調
達ノ都合並同鐵道ト英國側トノ從來ノ關係ニ顧ミ場合ニ依
リテハ資金ノ供給ニ關シテハ英國資本家ヲモ加入セシムル
コトト致度意嚮ニ有之右ノ目的ヲ達スル為ニハ一面前記往
電第三五号ヲ以テ申進候通目下本鐵道ニ閔シ支那側ト白耳
義資本家等トノ間ニ行ハレツシアル協議ヲ進行セザラシメ
更ニ進ニ該借款談ハ可成速ニ之ヲ不成立ニ終ラシムル様
力運動ヲ試ムルコト致度候ニ付右様御承知置相成度貴官
御含迄此段申進候 敬具

六五七 一月二十七日 桂兼任外務大臣ヨリ
在中国水野臨時代理公使宛（電報）

南萍鐵道借款ニ閔シ英國承諾ノ場合中國側ヲ
シテ日本ニ一任セシメ得ルヤ打診方訓令ノ件

第四七号

南萍鐵道ハ南潯鐵道及萍鄉等ニ對スル我重大ナル關係ニ鑑
ミ成ルベクハ本邦側ニ於テ專ラ之ガ借款ヲ引請クルコトト
致タキニ付若シ万一我ニ於テ何等カノ方法ヲ以テ英國側ニ

七 華中及華南鐵道交渉 二閔スル件 六五七 六五八

六五六 一月二十七日 桂兼任外務大臣ヨリ
在中国水野臨時代理公使宛

白耳義及中國間ノ南萍鐵道借款談ヲ不成立ニ
終ラシムル様運動方訓令ノ件

機密送第二五号

南萍鐵道問題ニ閔シテハ不取敢往電第三五号ヲ以テ申進候

機密送第二五号

南萍鐵道問題ニ閔シテハ不取敢往電第三五号ヲ以テ申進候

満足ヲ与ヘ支那政府ニ迷惑ヲ掛クルコトナクシテ英國側ノ
手ヲ引カシムルコトナリタル場合ニハ支那政府ヲシテ該
鐵道ノ借款引請ヲ我ニ一任セシムルノ見込アルベキヤ予メ
一應承知シ置キタキニ付右御含ノ上小田切ランテ適當ノ機
会ニ於テ支那側ノ意向ヲ探ラシメ其結果電報アリタシ

六五八 一月二十八日 桂兼任外務大臣ヨリ
在英國小池臨時代理大使宛

南萍鐵道ニ閔スル白耳義借款說同鐵道ト英國
トノ關係及中國政府ノ意向並我方ノ希望ニ閔

スル件

機密送第九号

客體來白耳義「シンヂケート」ト江西都督トノ間ニ一千万

兩ノ南昌萍鄉鐵道借款商議中ナル旨ノ風説アリタルヲ以テ

其真相探知ニ力メ居リタル處白耳義側トノ借款交渉ハヨシ

事実ナリトスルモ未ダ差迄進捗シタルモノニハ非ル如キモ

南萍鐵道ニ付テハ以前ヨリ英國側トノ關係アル趣ニテ現ニ

交通總長朱啓鈴ハ同鐵道資金ニ對シテ已ニ一昨年中盛宣懷

ト英國公使トノ間ニ嘗テ蘇杭甬鐵道ノ為借入タル英國資金

ヲ流用スルコトニ略ホ決定シ草約出來上リタル處革命事件

ノ為実行ニ至ラス爾來其眞ト成リ居レル旨ヲ一月十九日高尾書記官ニ内話シ又「メーヤース」モ一月十三日小田切ト会談ノ際文那ニ於ケル日英資本共同ノ必要ヲ論シタル序ニ同鐵道問題ニ言及シ該鐵道ニ關シテハ盛宣懷在職中「メーヤース」ノ手ニテ借款ノ相談ヲ進メ將ニ契約ノ締結ヲ見ントスルニ当リ盛ノ失脚ノ為成立ノ運ニ至ラサリシ次第ナリトテ略ホ朱總長談話ト同様ノ事実ヲ語リ本件ノ成行ハ右ノ如クニシテ契約モ存案セルコトナレバ自分ニ相談セズシテ他ヨリ借款スルコトハ出来ザル筈ナリト述ベタル趣ニ有之尚「メーヤース」ハ同人一己ノ意見トシテハ本鐵道ヲ日英共同投資事業トスルニ別段異議ナキ模様ニテ又朱總長モ前記ノ行懸アル以上同鐵道ヲ日本ノミニ任スコトハ困難ナルモ英國ニシテ日英共同ニ同意ナル限り支那側ニテハ勿論右共同ニ異存ナキ旨小田切ニ内話シタル由ニ有之候

南萍鐵道ハ延長約百八十哩工事費約八九百万兩ヲ要スル見込ニテ曩ニ我資本ヲ投下セル南潯鐵道ト我レニ於テ重大ナ利害關係ヲ有スル萍鄉トヲ聯繩シ且粵漢鐵道ト通ズベキ極メテ重要ナル線路ナルヲ以テ帝国政府ニ於テハ此際我ニ於テ是非共本鐵道ト密接ナル關係ヲ結ヒ置度希望ナルニ付

先ツ何等カノ方法ニ依リ同鐵道敷設ニ關係シ且ニ要スヘキ資金モ出来得ル限り我ヨリ供給スルコトシ尚資金調達ノ都合並同鐵道ト英國側トノ從来ノ關係ニ鑑ミ場合ニ依リテハ資金ノ供給ニ關シテハ英國資本家ヲモ加入セシムルコトト致度就テハ右ノ目的ヲ達スル為一面前記白耳義側トノ借款談ハ可成進歩セザラシメ更ニ進デ之ヲ不成立ニ終ラシメ度意見ニ有之候

本件ニ付テハ追テ何分ノ義申進スルコトモ可有之候ヘ共不取敢貴官御含迄此段及通報候也

追テ「メーヤース」ハ一月廿一日北京出發倫敦ニ赴ク由ニ付倫敦着ノ上本件ニ關スル英清組合本部ノ意図小田切心得迄内報ノ筈ナルニ依リ之亦御含蓄相成度候也

六五九 二月三日 在上海有吉總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

ハ南萍鐵道ニ關シ我方ノ援助ヲ予期シ居ル件
(二月十日接受)

機密第一二号

大正二年二月三日

在上海

外務大臣男爵 加藤高明殿
南萍鐵道ニ關スル件

本件ニ關シテハ御訓令ノ次第モ有之注意ヲ怠ラサル処今日迄聞込ミタル事実ヲ綜合シテ当地ニ於テハ白耳義側トハ具體的ノ話ハ進ミ居ラサルカ如ク唯曩ニ報告ノ英比銀公司（所謂ブリチシユ、ベルジャー、シンチゲート）總協理タル羅煥章（前大清銀行員）徐漢鄉（前江西知縣）ノ兩人ヨリ江西商務總會々長曾平齋ニ對シ同鐵道資金供給ノ申込ミヲ為シタル事アルハ事実ナルカ如ク要スルニ尚ホ何等具体的ノ進行ヲ為シ居ルモノトハ認メ難ク候同鐵道問題ニ關シ南潯鐵路公司協理ニシテ江西商務總會協理タル羅兆棟其他目下滯在中ノ同公司關係者ハ從來ノ行掛上小官ニ面会ヲ求メタルニ付面談シタル処要ハ南萍鐵道ニ向テモ他日我方ノ援助ヲ仰クノ日アルヘキヲ予期セルモノニシテ之カ要領左ノ如シ

都督一派ハ南萍鐵道ハ勿論商辦タル南潯鐵路ヲモ自己ノ掌中ニ握ラントセルハ客年以来既報ノ如クニシテ然モ南潯鐵道掌握ノ計画ハ一般商民ノ反対ニ会シ遂ニ不成功ニアリタ

ルニアルヘキモ何レニシテモ結局吾等業界ノ手ニ依リテ
計画スルノ外途ナキニ至ル可ク然シテ陳三立ハ地方ノ名望
家トシテ南潯鉄道ノ計画ニ当リ当初ヨリ幾度力会社ノ難局
ヲ救ヒテ寸毫モ私セス声望依然トシテ高キカ故ニ遂ニ更ニ
同氏ノ手ヲ煩ハスノ時アルヘク其際ニ於テハ既ニ南潯鉄路
ノ例モアリ十分我方ノ援助ヲ望ミ度断シテ同鉄道ヲ他ノ手
ニ委スルカ如キコトアラサラシムル考ヘナリ然シテ都督一
派ハ或ハ日本ニ対スル惡声ヲ放チ民心日本ニ背ケルカ如ク
伝フルコトアルヘキモ商總會其他實業界ニ於テハ事実毫モ
排日ノ思想ナク今次南潯借款ノ如キ一般ニ深甚ナル好感情
ヲ与ヘツツアルハ其保証スル所ナリ尚ホ都督トノ關係ニハ
十分ニ注意ヲ加ヘ成ル可ク之ニ反抗セスシテ目的ヲ達スル
考ヘナリト云フニアリ江西ニ於ケル実情ノ如何ハ元ヨリ當
館ニ於テ知悉シ得ル所ニ非ルモ南潯鉄道ニ關スル從來ノ行
掛ヨリシテ小官ノ聞込メル限リニ依レハ同地方ニ於ケル我
方ニ対スル感情ハ必スシモ不良トハ認メ難ク李都督等官界
其他ニ於ケル少壯ナル我留学生出身者等ニ依リ較モスレハ
排日的風説ノ我方ニ伝ヘラル事当地方亦同一ノ傾向アル
ニ鑑ミ之等ノ思想ハ商民間ニ於ケル一般ノ思想トハ斷シ難

キカ如ク然シテ李都督ノ地位タル其惡辣ナル手段ニ依リ世
論ノ如何ニ閑セス尚ホ動搖セサル觀アルモ其少クトモ一部
商界ノ反抗ヲ招キツツアルハ江西借款ニ關聯シテ屢次報告
ノ如クニ付秩序恢復ト共ニ仮令全然之力地位ヲ失ハサル迄
モ民政長等ノ撰任ニ依リ漸ク實權ニ遠カルノ日アルヘク仮
リニ然ラストスルモ其漸次商民ノ意ヲ迎ヘテ暴威ヲ振フヲ
敢テセサルハ南潯鉄路公司事件ニ對スル羅協理ノ処分問題
ニ就テモ之ヲ認ムルヲ得ヘク前述羅兆棟等ノ所説モ亦タ根
拠ナキニアラスト認メラレ候ニ付同人等ニ對シテハ能ク其
意ヲ諒シテ他日ノ連絡ヲ計ル可キ様篤ト申合メ置候尚ホ同
人等ノ談ニ依レハ李盛鐸ハ陳三立ト同シク所謂旧派ニ信用
アルモ都督一派ノ少壯連ニハ格別ノ關係ナキカ如シト云ヘ
リ

右御参考迄ニ報告申進候 敬具

追而本信写ハ伊集院公使芳沢總領事ニ送付致置候

六六〇 二月四日 在漢口 芳沢總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

東亞興業會社ヨリ代表者ヲ江西省ニ派遣方上
申ノ件

附屬書 二月一日附八木書記生ヨリ芳沢總領事宛機密
第十号写 東亞興業會社代表者ヲ南昌ニ派遣方稟申ノ件
機密第一三号 (二月十五日授受)

大正二年二月四日

在漢口

總領事 芳沢謙吉 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ關シ曩ニ在九江八木書記生ヨリ申出ノ次第有之候結果
客年十一月二十日付公信第一二三号拙信ヲ以テ及稟請候
處其後古市東亞興業社長ヨリ本官へ宛テ根本問題タル江西

鉄路公司前借款問題未ダ解決ヲ告ゲザル間ハ同社ヨリ代表

者派遣ノ運ニ至リ兼ヌル旨申越相成候ニ付當時其趣八木ヘ

転達致置候処今般復タ又別紙写ノ通リ申越來候別紙申出ニ

係ル利權扶植方ニ付テハ國際關係上十分慎重ノ用意ヲ要シ

候事勿論ニ有之候得共我方ニ於テ相當ノ理由ヲ有スル事柄

ニ付テハ列國ヲシテ乗セシムルコト不得策ナルハ今更申上

クル迄モ無之処ニ有之候ニ付利權扶殖ノ目的物ニ付テハ其

都度可否ヲ考慮シテ決定スルコト致シ兎ニ角八木稟請ノ

通リ適當ノ人物ヲ江西省ニ派遣スル方可然ト存候尤モ其東

在漢口

外務書記生 八木元八

在九江

総領事 芳沢謙吉殿

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六六〇

東亞興業會社ヨリ代表者ヲ九江ニ派遣シ置カレ度旨鐵路公司側ニテ希望スル趣ハ曩ニ及御報告置候處今般同社ヨリ当地ニ派遣サレタル本間博士ハ昨日公信報告ノ通り技術上請負ノ取極メヲナシ直チニ帰朝スル予定ニシテ其後当地ニ代表者ノ派遣方ニ關シテハ何等承知セサル由ニ候然ルニ近來當地方ノ風潮ヲ觀察スルニ義ニハ外資輸入ノ必要ヲ認ムルモ世間ノ思惑ヲ顧ミテ之ヲ公言スルヲ憚リ居リタルモノモ過般孫汝當地方ニ來游シ旺ニ外資輸入利源開發ノ必要ヲ唱ヘテヨリ公然借款ニヨル諸般ノ事業ヲ企画シ都督府或ハ政黨ノ力ニヨリテ之レヲ成就シ結局自ラ利益セント運動スル者增加致シ候、而シテ其企業ノ重ナルモノトイテハ南萍鐵路、宜春銅礦、城門鐵礦、九江城壁撤銷其他十指ヲ屈スルニ足リ悉ク外資ニヨルノ外事業ノ成績ヲ挙クル事困難ナルモノニ有之其他尚政界運動屋ノ話頭ニ上ラサルモノニシテ本邦人ノ手ヲ着クルコト可能ナルモノ多々有之候

小官ハ微力自ラ揣ラズ苟モ本邦人ノ關係シ得可キ企業談ハ百方或ル關係ヲ付ケント努力致シ居リ候へ共江西省ニ於ケル是等ノ計画ハ南昌ヲ中心トシ居リ南昌當地ノ往復一週間

總長朱啓鈴ニ會見セシメタルニ朱ハ南萍鐵道ニ關シテハ英國ニシテ承諾セハ支那ハ日本ノミト相談スルモ苦シカラスト述ヘ但シ南萍鐵道借款ニ關シ交通部ハ今以テ何等報告ナ

ク江西昨今ノ紛擾モ該借款事件其一原因タルカ如ク内情紛雜シ多大ノ弊害アリト認メラルニ付一應該借款契約ノ写ヲ閲覽シタク其内ニ不都合ノ箇所アラハ愈々日本側ト南萍鐵道借款ヲ議スルコトトナリタル節改正スルコトニ致シタシト申出タリ小田切ハ過日既ニ本邦ヘ申送リ置キタルニ付到着次第写ヲ示スヘシト答ヘタル由ナルカ事情斯ノ如クナル以上ハ小田切ヲシテ適當ノ機會ニ契約写ヲ示サシムル方話ヲ纏ムルニ便利ナラント思料ス何分ノ義御電訓ヲ請フ

六六二 四月二十九日

阿部政務局長ヨリ
井上正金銀行副頭取宛

南萍鐵道優先權問題二閱スル調書送付ノ件

附屬書

三月十九日附高木陸郎ヨリ井上正金銀行副頭

取宛書信

南萍鐵道優先權ニ關スル件

機密

ヲ要スル今日屢々南昌ニ赴クハ不可能ニシテ且ツ人ノ疑惑ヲ牽ク憂ヒアリ共ニ當地方ニ於ケル本邦利権ノ扶植ヲ計ル為メ相當人物ノ協力ヲ得ル必要ハ切ニ小官ニ於テ感シ居ル處ニ有之此際東亞興業ヨリ鐵道側ノ希望モアリ相當支那ニ經驗アル人物ヲ派遣シ鐵路材料ノ売込み以外南昌ニ於ケル諸般ノ企業ニ對シ或ル關係ヲ就クル事ニ努力セシムルヲ得バ甚々好都合ニ有之候

右本省ヨリ東亞興業當事者ニ勸誘方可然御稟請相成様致度候尚東亞興業會社ニ於テ代表者派遣ノ都合付カザレバ台灣銀行或ハ其他ニ對シ右勸誘致度ニ付何分ノ御回報相成様致度候

右及上申候 敬具

六六一 二月八日

在中国伊集院公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南萍鐵道ニ關シ英國承諾セバ日本ニ一任差支

ナキ旨南萍鐵道借款契約書寫閱覽シ度キ旨朱

交通總長申出ノ件

第一四六号

貴電第四七号ニ關シ本使ハ小田切ニ旨ヲ含メ一月七日交通

通り為御参考及御送付候間御查閱相成度此段得貴意候
(附屬書) 敬具

南萍鐵道優先權問題

南萍鐵道借款問題ニ關シ英國ガ優先權ヲ有セリトハ單ニ一片ノ風説ニ止マルカ然ラザレバ之レ英國側ノ強弁ニ過ギズトノ論アリト雖現ニ本年一月十九日朱交通總長ハ我高尾書記官ニ對シ同鐵道資金トシテハ已ニ一昨年中盛宣懷ト英國側トノ間ニ於テ營テ蘇杭甬鐵道ノ為借入レタル英國資本ヲ流用スルコトニ略ホ決定シ草約出來上リタル折柄革命事件ノ為遂ニ実行ヲ見ルニ至ラス爾來其倅トナリ居ル旨ヲ内話シ又之レヨリ先キ一月十三日「メーヤース」モ亦小田切取締役ニ對シ該鐵道ニ關シテハ盛宣懷在職中「メーヤース」ノ手ニテ借款ノ相談ヲ進メ將ニ契約ノ締結ヲ見ントスルニ當リ盛失脚ノ結果遂ニ成立ノ運ニ至ラサリシ次第ヲ述べ其後同取締役ヨリ白耳義側借款運動ノ模様ニヨリテハ日本側モ相当ノ措置ヲ執ラザルベカラザルヤモ計リ難キ旨ヲ述べタルニ「メーヤース」ハ南萍鐵道借款ノ成行ハ右ノ次第二テ契約モ已ニ存案セルコトナレハ自分ニ相談セスシテ他ト

拝啓陳者南萍線優先權問題ニ關スル當局取調ノ結果別紙ノ
七 華中及華南鐵道交涉ニ關スル件 六六二

契約スルコトハ出来サル筈ナリト語リ次デ一月二十一日小田切取締役ハ朱總長ニ対シ同取締役ハ一昨年盛宣懷ト南萍線ニ関シ商議スル所アリタルガ其際盛ハ日英合辦ノ希望ヲ洩シタルコト等ヲ述ベタルニ同總長ハ前顧蘇杭甬鉄道借款流用ノ件ニ付此程浙江ヨリ右ハ可成速ニ実行方申出タルヲ以テ「メーヤース」ニ決行ヲ促シタルモ「メーヤース」ハ何レ帰英後決答スヘシトノコトナリ右様ノ行懸アルニ付日英共同ナレバ兎モ角日本ノミヨリ借款スルコトハ困難ナル旨ヲ答ヘタルガ以上ノ成行ニ依リテ見ルモ南萍線ニ關スル英國側優先権ハ決シテ根拠ナシト云フベカラズ將又己ニ日本ニ於テ江西全省鉄路公司計画線ノ一部タル九江南昌間線路ニ關シ借款關係ヲ有スル以上ハ同ジク右計画線ノ一部タル南萍線ニ付テモ当然我ニ於テ優先権ヲ有シタルハ少クトモ革命前迄ノ実情ナリトノ論アリト雖去ル明治四十年中大成工商会社關係ノ同鉄道百万両借款成立シタル當時ハ仏独等ノ資本家ノ競争激烈ヲ極メ居リシ際ニテ我ニ於テモ江西鉄道ハ多年我要求ニ係ル南清鉄道線トノ關係モアリ旁在上海國總領事ヲシテ極力斡旋セシメタル結果江西鐵道第一区線九江南昌間敷設費ノ不足ヲ補フタメトシテ

(別 紙)
江西鐵路公司借款ニ關スル日本興業銀行ト大成工商会社間契約第五、第六及第七条
第五条 大成工商会社ハ江西全省鉄路總公司カ其資產ヲ他ニ抵当トシ或ハ窃ニ之ヲ売却シ或ハ別ニ借款ヲ起スカ如キ等ノ事アルヤ否ヤヲ周密ニ偵察シ以テ利益ヲ損セ

サラムコトヲ勉ムルモノトス

第六条 大成工商会社ハ江西全省鉄路總公司ニ於テ第五条ニ掲タル事項ヲ行ハントスルヲ察知シタルトキハ一面之ヲ防阻スルノ方法ヲ取リ一面日本興業銀行ニ通知シ相互誠実ニ商量ノ上江西全省鉄路總公司ニ理論シ本契約ノ保安ヲ図ルヘキモノトス

第七条 江西全省鉄路總公司ニ於テ若シ他ニ向テ更ニ借款ノ商議ヲ為スカ如キコトアル場合ニハ大成工商会社ハ遲滞ナク之ヲ日本興業銀行ニ通知シ協力シテ利益ノ獲得ヲ期スヘキモノトス

(附 記)

南萍鐵道優先権ニ關スル件

大正二年三月十九日

高木陸郎

横浜正金銀行

副頭取 井上準之助様

挙啓今朝御話申上候右鐵道ニ關スル愚見左ニ申述候

右鐵道借款ニ關シテハ英國ニ於テ先議權ヲ有シ曾テ前清時

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六六二

代ノ郵伝部尚書盛宣懷ト英清「シンジケート」代表者「メーヤー」氏トノ間ニ仮契約ヲ結バレアリトノ風説有之候得共小生ノ信ズル所ニ拠レバ之レハ信ズルニ足ラザル風説ニ候元々此江西省萍鄉南昌間ノ鉄道ノ問題トナリシハ明治四十三年末ヨリ四十四年春頃即チ盛宣懷ガ郵伝部尚書トナリシ頃ヨリ始マリシモノニテ其九江南昌間鉄道ノ敷設セラレザル内ニ此議ノ起ルニ至リシハ當時此ノ南昌萍鄉線モ南昌九江線ト共ニ江西全省鉄路公司ノ敷設權ヲ有セシモノニシテ同公司ガ既ニ壹百万両ヲ日本ヨリ借款シ居リシ關係ヨリ第一段タル九江南昌間ノ敷設費ヲ矢張リ日本ヨリ借款セント種々交渉スル所アリシモ留学生其他ノ反対ノ為メニ成功セズ當時同公司總理劉景熙大ニ之レニ就キ焦慮ナシ居リシニ一方漢治萍公司ニ於テハ萍鄉ヲ湖南ノ湘江水路ニヨリ漢口ニ搬出シ來リ居ルモ冬季減水期約四ヶ月間ハ運搬ニ苦シミ江西鉄道ノ速成即チ萍鄉ヨリ直ニ九江ニ搬出シ得ラルルコトヲ希望シ居リシニ漢治萍公司ノ總理タル盛カ郵伝部尚書トナリ此ノ間ノ消息ヲ了解セシムルニ便ナルヨリ小生漢治萍公司ノ協理李維格ト謀リ此江西鉄道資金ヲ郵伝部ヨリ借入レル様ニシ日本ハ郵伝部即チ北京政府ニ貸付クルコト

七 華中及華南鉄道交渉ニ関スル件 六六三

トナサバ省内ノ反対派ヲ鎮メ得ルナラント之ヲ鉄路公司總理劉ニ勧メ劉モ之レニ同意シ公司内ノ議ヲ纏メ四十四年春

北京ニ赴キ郵伝部ト之レガ交渉ヲナシタリシガ當時漢治萍公司モ大借款ヲ起ス議アリ漢陽、大治ヲ抵当トシテ日本ヨリ二千万円ヲ、萍鄉ヲ抵当トシテ四ヶ国（英米独仏）ヨリ二千万元合計四千万元ヲ借入ルル計画アリ四ヶ國ノ代表者ハ英清「シンジケート」ノ「メーヤー」氏ニシテ日本側ノ

代表者ハ小田切氏ニ有之候此時盛ヨリ比萍鄉九江間ノ鉄道借款ニ就キテ「メーヤー」氏ニ内話シタルコト無キヲ保シ難

ク殊ニ英國トハ蘇杭甬鉄道借款ノ關係モアリ其資金一千五百万円ハ部借部還即チ北京政府ニテ責任ヲ負フコトシテ

何レニモ流用セズ銀行ニ預金シアリ其当事者ハ矢張リ盛宣懷ナリシ故之レヲ其僕江西ノ方ニ転嫁セソ底意ハ盛ニ於テ

アリシナラント思ハレ候モ之レトテ其當時何等纏マリシコトハ無カリシニテ殊ニ革命前迄ハ南潯鉄路公司トカ南萍鐵

路公司トカ云フ風ニ分カレ居リシモノニ無之江西全省鉄路

公司トシテ存在シ居リシモノニテ既ニ日本ニ於テ其一部タル九江南昌間ニ借款ヲ為シ各國共之レニ異議無キ以上南昌萍鄉間ノ所謂南萍鉄道モ當然日本ニ於テ優先權アルモノト

何レニモ流用セズ銀行ニ預金シアリ其当事者ハ矢張リ盛宣

懷ナリシ故之レヲ其僕江西ノ方ニ転嫁セソ底意ハ盛ニ於テ

右ニ關シ何分ノ御意見電報アリタク尚同人ニ於テ借款額及条件等出来得ル限り詳細取調ヘ八木ニ通報スル様取計置キ

タリ

註 当時ノ江西軍務司長ハ俞應麓

六六四 五月六日 在漢口芳沢總領事ヨリ
南昌軍務司長ハ俞應麓

南昌軍務司長依頼ノ南萍鉄道借款ニ關シ回訓
ノ件

第二九号

貴電第六〇号ニ關シ

南萍線ニ付テハ北京ニ於テ多少交渉ノ行懸モアリ且高田商會ト先方トノ關係ニ顧ミ單純ナル鉄道借款ト思考シ難キ節モアルニ付兎モ角モ条件等詳報ニ接シタル上ハ郵報アリ度其上ニテ更ニ何分ノ義申進スヘシ
貴電第六〇号及本電北京へ轉電アレ

六六五 五月六日 在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛（電報）

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六六四 六六五 六六六

確信罷在リ候次第ニ候

之ヲ要スルニ革命前迄江西省ニ於ケル鉄道敷設権ハ江西全省鉄路公司ノミガ有セシモノニテ九江南昌間ヲ第一段トシ

南昌吉安間ヲ第二段トシ南昌萍鄉間ヲ支線トシ南昌玉山間ヲ第三段トシテ計画シ居リ此ノ全線ニ對シテ日本ガ先議權アリシハ革命當時迄ノ寒情ニ有之候從テ其英清「シンジケート」ノ南萍線ニ對シテ先議權ヲ有シ居ルト云フモ是レ彼

レノ強弁ニ過ギザレハ單ナル風説ト存候

先ハ右大要小生ノ所信御参考迄ニ申述候 敬具

註 右ハ高木陸郎ヨリ同日附ヲ以テ阿部政務局長宛送付越サレタルモノ

六六三 五月五日 在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛（電報）

南昌軍務司長ヨリ南萍鉄道借款依頼ニ付請訓
ノ件

第六〇号

南昌軍務司長ヨリ南萍鉄道借款依頼サレタルガ日本ハ果シテ之ヲ引受クル考アリヤ尚本件計画ハ軍務司長其局ニ当ル筈ニシテ他ノ日本人ヲシテ競爭セシメサル様希望スル旨在

ノ件

第六三号

往電第六〇号ニ關シ八木ヨリ左ノ通電報アリ

南萍鉄道借款ニ關シ昨日發郡島ニ書面ニ依レハ借款額一千万元条件ハ六日ニ郡島ニ示ス筈ナルモ略ホ南潯鉄道契約ヲ基礎トス俞應麓等運動ノ結果在北京李盛鐸省議会都督府ト

ノ間ニ日本ヨリ借款スルコトニ内定シ若シ出来サルトキ他ニ交渉ノ筈契約ハ俞江西省ヲ代表シ調印シ都督證明スヘシ

但シ東亞興業ヨリ借入ルヲ欲セス他ニ適當ナル銀行ト契約シシタントノコト（彭程万其局ニ立チ居ルヲ以テナラン）

本件ハ調印迄充分秘密ニ附スル様俞ノ依頼アリ此外ニモ尚

郡島ハ江西省ノ諸収入ヲ抵当トシ台灣銀行ヨリ二百万円ヲ二三年間ノ期限ニテ借入ル交渉ノ依頼ヲ受ケタル由此借款ハ財政司長借り主トナリ都督保證ノコト（常玉鉄道其他ノ事業ノ經營資金ト察ス）郡島ハ先方ノ条件ヲ得テ六日發当地ニ來ルヘシトノコトナリ

北京ニ電報済ミ

六六六 五月六日 在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

南萍鐵道籌備狀況ニ關シ報告ノ件

附屬書

芳沢總領事宛機密第二八号写

同右件

機密第六九号

大正二年五月六日

在漢口

總領事 芳沢謙吉殿

南萍鐵道籌備狀況ニ關スル件

在漢口

總領事 芳沢謙吉殿

南萍鐵道籌備處ヲ撤消シタル趣ハ本月二十三日漢公第一〇三号ヲ以テ及御報告置候處昨日接到セル南昌新聞紙ノ報ズ

總工程師トナシ南潯鐵道ノ趙世瑄ヲ名譽工程員トナサン事ヲ都督ニ呈請シタル旨ノ記事アリタルニヨリ本件ニ關シ問工務課長張ニ（趙ハ病氣中）面会ノ序ヲ以テ本件ニ關シ問題シ候處張ハ大要左ノ談話ヲナシ候

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

總領事 芳 沢 謙 吉（印）

南萍鐵道籌備狀況ニ關スル件

右件ニ關シ在九江八木書記生ヨリ別紙写ノ通り報告ニ接シ

候ニ付御参考迄右茲ニ及御送付候間委細右ニテ御了承相成候様致度別紙相添ヘ此段申進候 敬具

追而本信写伊集院公使ヘ送付致置候此段申添候也

（附屬書）

機密第一八号

大正二年四月一十七日

在九江

外務書記生 八 木 元 八

路公司ハ本日モ上海ヨリ二通ノ申込ミヲ受ケタリ云々然ルニ南昌郡島ヨリ過日右胡擇ニ面会シタル際同人談トシテ左ノ通信アリ候

（前略）（胡擇談）南萍鐵道ハ前清時代ニ英國ト何カ内約アル様ニ伝承セルモ此内約ハ目下當方ニ於テ重視セズ（渝心麓氏モ先日面会ノ時英國ト内約アル様ニ伝承スルモ夫レハ如何様ニモ可相成ト申候）當方ハ可成利子ノ低率ニテ条件ノ複雜ナラサル國ヨリ借款スル希望ナリ已ニ先月來英、米、独、白ノ諸國ヨリ借款ニ応シ度旨申込ミ來レルモ貴國人ヨリハ未タ何ノ交渉モ受ケズ（英、米諸国ノ事ハ日本側ニ對スル駁引カトモ察シ申候）幸ヒ貴殿ト

知已トナレルニ付今後能ク相談可仕将タ小生（郡島）ノ事ハ渝氏ヨリ能ク紹介サレタルニ付大ニ安神シ及フ丈ヶ鉄道等ノ事ニ付協議致ス考ナリト申候。南萍線測量ハ數日内ニ詹天佑氏九江ニ數名ノ部下ト共ニ來ラレ候筈ニ付其上ニテ直チニ測量ニ着手ノ事ト可相成、故ニ借款問題ノ交渉ハ來月中旬頃ヨリ七月頃迄ニハ何トカ決定致ス事

ト察ス、日本側ニテ此借款引受ケノ希望アレバ第一利子ヲ低率ニシ条件ヲ簡単ニスル考ニアラサレバ成立困難ト

右胡ノ談話中借款問題ハ來月中旬ヨリ七月頃迄ニハ決定サル可シ云々トハ甚タ早計ニシテ本鐵道案ハ目下省議会ニ提出サレアリ其官辦商辦ノ問題モ決定サレサル前都督府ニテ籌備處ヲ設クルハ不都合ナリトテ其取消案可決サレタル様ノ場合ニ付右ハ都督府官辦案ノ可決ヲ推定シテ胡等ノ希望ヲ言明シタルニ過キサル事ト存候

兎ニ角本件ハ籌備處ノ撤消ニ拘ハラズ都督府側ニ於テハ其計画ヲ進行セシムル意向ナル如ク候

七 華中及華南鐵道交渉ニ關スル件 六六六

七五三

七 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 六六七

右及報告候 敬具

六六七 五月八日 在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

南萍鐵道借款条件等ニ関スル件

附屬書 五月七日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳沢

總領事宛機密第三〇号写

同右件

機密第七一号

大正二年五月八日

(五月十九日接受)

機密第三〇号

大正二年五月七日

在九江 外務書記生 八木元八

在漢口

總領事 芳沢謙吉(印)

外務大臣男爵 牧野伸頭殿

南萍鐵道及都督府借款ノ件

右件ニ關シ本件六月付第一九号貴電ヲ以テ何レ詳細ノ条件等御閲覧ノ上何分ノ御決定相成ル可キ旨御來示ノ次第有之候處其後本件ニ關シ在九江八木書記生ヨリ別紙写ノ通リ報告ニ接シ候ニ付不取敢右茲ニ及御送付候間御查閱相成候様致度尚ホ在南昌高田商會員郡島忠次郎ハ第六三号拙電ヲ以テ及御報告置候通リ不日九江來着ノ筈ニ有之其節八木ニ於

テ本件巨細ノ事情聞取リノ上當方へ報告致来ル可クト存候ニ付本官ヨリ転報スヘキ右八木追報御閲覧ノ上何分ノ御決定相成候様致度別紙相添ヘ此段申進候 敬具
(附屬書)
南萍鐵道借款条件等ニ関スル件

在漢口

總領事 芳沢謙吉殿

南萍鐵道及都督府借款ニ關シテハ昨六日往電第十号ヲ以テ

電報致候處右電報ノ基礎タル郡島來信寫為御参考別紙及

御送附候

其後小官ヨリ打電セル借款額及条件等取調べ度旨ノ電報ニ

對シテハ郡島ヨリ「三日附書面見テ其意味ヲ打電サレ度シ、

手數料ハ五分ヲ望ミ居ルニ付条件ハ日本側ヨリ示サレ度

シ」トノ回電ニ接シ居リ候

御話致ス事)

三、在北京同盟會長李盛鐸、當省議會、都督府側モ翁氏等運動ノ結果日本ヨリ借款スル事ニ決定シ居レリ万一千出

ザル時ハ直チニ英國ナリ他ニ交渉ノ考

四、已ニ前記ノ國体内決セシ事ニ付翁氏ノ希望ハ契約調印ト同時ニ發表スルコト夫レ迄ハ極秘密ニシテ何人ニモ洩

サザル事此ノ件ハ都督ト翁氏ニテ話合ヒ未タ支那側ノ人ニモ話サザル由

五、契約ハ翁氏江西ヲ代表シテ調印シ都督之レヲ證明スル事

一、台灣銀行ヘ相談ノ件

謹啓益々御多幸奉賀候陳者昨夜實業司長ノ招待ニテ酒宴中翁氏ヨリ來駕ヲ願フトノ事ニ付訪問致候處左ノ依頼ヲ受ケ申候

一、南萍鐵路借款毫千萬元借入レノ事
右ハ大略南潯鐵道ト同様ノ条件明後日迄ニ其条件ヲ小生ニ示ス事

二、東亞興業株式会社ヨリ借入レハ希望セズ他ニ適當ノ銀行ト契約致シ度事(其理由ハ小生八、九日頃貴地ニ行キ

ニ示ス事

七 華中及華南鐵道交渉ニ關スル件 六六七

要スルニ此ノ時機ハ昨年来翁氏ト計画ノ事ニテ漸ク成熟セ
ル事ナレトモ万一此ノ時機ヲ逸シ候時ハ対江西策ハ或ハ不
結果ニ了リ可申クト存候ニ付大ニ御尽力被下度特ニ為國家

願上候

小生ハ先日御通知ノ如ク東亜ノ通信員ヲ依嘱セラレ候ニ付

白岩氏ト打合モアリ東亜ヲ主張セルモ先方不贊成ナリ其原

因ハ昨年南潯鉄道ノ委員長ニハ彭氏其局ニ当レリ然ルニ日

本側ハ羅朗山等ヲ認メ彭氏ヲ輕視セル事等ガ原因トナレリ

其他手数料等ノ事モ有之候様ナルガ右ハ不日御話可仕候

要スルニ此際成立セザル時ハ國家百年ノ遺恨ニ付十分ノ御

注意ヲ以テ御尽力被下度特ニ願上ヶ申候

余ハ不日面晤可仕モ大体ノ事ハ東京ニ御打電被下様願上候

草刈氏ニハ台銀ノ事ノミ話シ置ク様願上候

東京ニモ極秘トシテ特ニ御打電被下度候 草々

欄外註記 草刈氏ハ台銀ノ九江支店長ナリ

六六八 五月八日 在漢口芳沢總領事ヨリ

牧野外務大臣宛

南萍鉄道借款ニ閑シ都督府申出ニ付八木ヨリ

稟請方申越ノ件

附屬書 五月七日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳沢

總領事宛機密第二九号写
右都督府申出ニ付本省ニ稟請アリ度キ件

機密第七二号

大正二年五月八日 (五月十九日接受)

在漢口

總領事 芳 沢 謙 吉 (印)

外務大臣男爵 牧野 伸頤殿

南萍鉄道及都督府借款ニ閑スル件

南萍鉄道及都督府借款ノ件ニ閑シ在九江八木書記生ヨリ別紙写ノ通リ意見申越候ニ付御参考迄右茲ニ及御送付候間御

查閱相成候様致度候猶別紙所載ノ南昌官場ハ本邦留学生出身者多キハ事實ニ有之候ノミナラズ元来同省ハ孫黃ノ如キ

親日的人物ヲ首領トセル国民党全盛ノ地ナルガ為メカ大体

我國ニ對シテハ好意的態度ヲ持シ來リ候次第ニ有之此際如何ニカシテ此親日的傾向ヲ繼續セシムルハ帝国政府年來ノ

政策ヲ行フニ當リ至大ノ便宜可有之ト思考致候別紙相添ヘ此段申進候 敬具

追而本信写伊集院公使へ送付致置候此段申添候也

(附屬書)

写
機密第一九号

大正二年五月七日

在九江

外務書記生 八 木 元 八

在漢口

総領事 芳沢 謙吉殿

南萍鉄道及都督府借款ニ閑シ卑見開陳ノ件

南萍鉄道及都督府借款ニ閑シテハ電報及別信ヲ以テ及御報告候處本件借款談ハ江西省内ニ我利權ヲ拡充スル絶好ノ機会ニシテ此機ヲ逸スレバ江西ニ於ケル我レノ地位ハ他外国ノ後塵ヲ拝スルニ至ル可キ虞有之ト存候

江西省ノ現状ハ英國ガ九江ニ猫額大ノ一居留地ヲ有スル外何等外國勢力ノ浸漲ヲ蒙ラズ南昌官場ハ事外國ノ力ヲ借ルヲ要スルモノハ惣テ本邦ニヨルフ便トスル留学生出身者ヲ以テ堅メ居リ殊ニ李都督ノ如キ本邦ノ心醉者トモ称ス可キ

モノニシテ此傾向ヲ利用シ益々彼等ヲシテ我レニ倚ルノ情勢ヲ馴致スルハ我對清政策ノ大局ヨリ見ルモ甚タ必要ナル事ト存候

七 華中及華南鉄道交渉ニ閑スル件 六六八

江西都督府計画中ノ事業ハ十指ヲ屈スルニ足リ皆巨額ノ資金ヲ要スル企業ニシテ外債ニ依ルノ外ナク南萍鉄道借款談ハ其第一着手トシテ現ハレタルモノニ有之候、又台灣銀行ニ対スル二百万元ノ借款ハ其費途郡島來得ノ上ナラデハ判明セサルモ多分常玉鐵道其他都督府計画ノ企業費ニ充ツルモノナル如ク此二借款ハ南潯鉄道ノ覆轍ニ顧ミ都督府ニ於テ自ラ商談ノ局ニ当ラントシ居ルモノニ有之候

南萍鉄道ニ閑シテハ英國側トノ話合アリ我ヨリ進ンデ運動的態度ニ出デサル様本省ヨリノ訓電曩ニ接到致居候ヘ共既ニ先方ヨリ進ンデ郡島ニ右協談ヲ持込ミ來リタル事情アルヲ以テ我ニ於テハ一応英國側ニ話合ノ上我資本家代表者ニ於テ談判ノ衝ニ當リ調印ノ名義人トナル事得策ト存候

台灣銀行借款ニ閑シテハ過般同行ニ於テハ福建省ニ二百万元ヲ貸付ケントシ協談遂ニ不調ニ終リタル由ニ付其資金ヲ當省ニ流用シ以テ福建ト密接ノ關係アル江西開拓ノ資金ニ充ツル様致度候

目下上海地方ニ於テハ地方ノ企業ニ投資セントスル外國資本家ヲ擁シテ自己ノ利ヲ計ラントスル支那人多数アリ近來都督府ニ對シ借款引受ケノ申込頻ニアル由ニ付本邦資本家

七 華中及華南鐵道交涉ニ関スル件 六六九

七五八

ニ於テ協談ニ応セザレバ愈等ハ余儀ナク他ノ方面ニ交渉ス
可ク南萍鐵道其他ニ外國ノ資金投ゼラル事トナレバ我南

萍鐵道ニ有スル關係ハ半々無意義ト可相成ト存候

現下ノ情勢ヲ以テ支那ノ政局ヲ見ルニ南北分離ノ慘劇ハ避

ケ得ヘシトスルモ中央統一ノ実ハ容易ニ期ス可カラズ各省

自治ノ権ハ極ニ主張サレ中央政府ガ一片ノ辞令ヲ以テ南
方都督ヲ任免シ省内企業ニ迄干渉シ得ルノ日ハ尚前途遼遠

ナリト見サル可カラズ然ラバ即我レノ秉ル可キ政策トシテ
ハ中央ニ有利ノ地歩ヲ占ムルト共ニ地方ニ於テモ相当ノ根

拠ヲ作り置クニアラザレバ南方支那ニ於ケル我レノ主張ハ
到底其徹底ヲ期ス可カラズト存候

右等ノ点ニ鑑ミ本件借款ハ可成我レニ於テ應スル様可然本
省へ御稟請相成様致度候

右及稟申候 敬具

六六九 五月十三日 在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野大臣宛

南萍鐵道及江西都督府借款ニ關スル件

附屬書

五月十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳
沢總領事宛機密第三一号及同機密第三二号

(附屬書)

五月十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳沢總領事宛機密
第三一号及同機密第三二号(一)(二)

台灣銀行江西都督府借款ニ關シ詳報ノ件

(一)

五月七日第二七号貴電ヲ以テ本件借款条件等詳報ニ接シタ
ル上ハ郵報可致旨御下訓ノ次第有之候ニ付一方八木書記生
ニ対シ右条件等入手次第本官迄郵報可致旨申遣ハシ置候处
今般別紙写二通ノ通り報告ニ接シ候ニ付右茲ニ及御送付候
間御查閱相成候様致度別紙相添此段申進候 敬具

大正二年五月十三日

在漢口

總領事 芳 沢 謙 吉 (印)

外務大臣男爵 牧野 伸頤殿

南萍鐵道及江西都督府借款ニ關スル件

五月七日第二七号貴電ヲ以テ本件借款条件等詳報ニ接シタ
ル上ハ郵報可致旨御下訓ノ次第有之候ニ付一方八木書記生
ニ対シ右条件等入手次第本官迄郵報可致旨申遣ハシ置候处
今般別紙写二通ノ通り報告ニ接シ候ニ付右茲ニ及御送付候
間御查閱相成候様致度別紙相添此段申進候 敬具

(一)(二)

台灣銀行江西都督府借款ニ關シ詳報ノ件

(五月二十二日接受)

台灣銀行江西都督府借款ニ關シ詳報ノ件

機密第七五号

大正二年五月十三日

在漢口

總領事 芳 沢 謙 吉 (印)

外務大臣男爵 牧野 伸頤殿

南萍鐵道及江西都督府借款ニ關スル件

五月七日第二七号貴電ヲ以テ本件借款条件等詳報ニ接シタ
ル上ハ郵報可致旨御下訓ノ次第有之候ニ付一方八木書記生
ニ対シ右条件等入手次第本官迄郵報可致旨申遣ハシ置候处
今般別紙写二通ノ通り報告ニ接シ候ニ付右茲ニ及御送付候
間御查閱相成候様致度別紙相添此段申進候 敬具

五月十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳沢總領事宛機密
第三一号及同機密第三二号(一)(二)

台灣銀行江西都督府借款ニ關シ詳報ノ件

(一)

五月十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳
沢總領事宛機密第三一号及同機密第三二号

台灣銀行江西都督府借款ニ關シ詳報ノ件

(一)

機密第三一号

大正二年五月十一日

在九江

外務書記生 八 木 元 八

在漢口總領事 芳沢 謙吉殿

南萍鐵道及都督府借款ニ關シテハ電報及機密信ヲ以テ申進
置候處尚詳細ノ事情左ニ及報告候

昨夜郡島忠次郎南昌ヨリ到潯其語ル所大略左ノ通リニ有之
候

一、台灣銀行ニ対スル二百万元ノ借款ハ目下南昌市面硬貨
払底シ商界恐慌ヲ起サントシ居ルニ付李都督ハ其救濟策

トシテ右額ヲ借款シ民國銀行ニ融通シテ市場ノ急ヲ救ヒ

又其内ヨリ常玉鐵道資金七十万弗及實業司計画ノ企業費
ヲ融通セントスルモノナリ条件ハ都督府ノ機密費トシテ
三分ノ手數費ヲ窃ニ収ムル外當方ヨリ申出テラレタシト
ノ事

借主ハ財政司長簽名シ都督保証ヲナシ担保トシテハ江西

省ノ税收入ヲ書入ル、事、期限ハ二三ヶ年

七 華中及華南鐵道交涉ニ關スル件 六六九

一、然シ南萍鐵道借款ハ金額稍巨大ニシテ目下日本ニテ引
受ケラ困難トル事情アレハ前項台灣銀行ノ借款額ヲ四
百万元トナシニ二百万元ヲ南萍線ニ流用シ先ツ工事ニ着手

七五九

七 華中及華南鐵道交涉ニ関スル件 六六九

シテ後徐ロニ借款談ヲ進行セシムルモ可ナリ

一、本件借款談ハ渝応麓昨年来計画運動セル所ニシテ漸ク其成功ノ時機ニ近カントシ居ルモノニシテ發表ノ上ハ多

少世間ヨリノ攻撃ハ期待シ居レリ、渝ト郡島トハ昨年来内密ノ關係アリ此運動ヲ共ニシ居ルモノニシテ調印迄ハ

關係者以外絶対ニ秘密ニナシ度キ渝ノ希望ナリ

一、南洋ニテ成功セル一支那人独亞銀行ヲ代表シ借款ニ應

セント運動シ居リ若シ日本側ノ話不調トナレハ先ツ此方ニ交渉ス可シト云フ

右ハ郡島來談ノ要綱ニシテ小官ハ郡島及台灣銀行支店長ト

モ協議ヲナシ台灣銀行本店ハ先ツ支那側ノ条件ヲ知ラント欲スル模様ナルニ付小官等ノ見込ニヨリ支那側ニテ妥當ト

ナスナラント思考サル、左ノ条件ヲ本日打電シ本店ノ意見ヲ求メタリ

一、借款額ハ二百万円（金貨計算ハ銀行ニテ絶対ノ必要条件トナス由）

日本ニテ南萍線借款談ヲ直チニ進行セシムル能ハサル事情アレハ本借款額ヲ四百万円ニ増加ヲ希望ス

二、期限ハ二年或ハ三年

七六〇

三、利子七分五厘位（支那側ハ六分五厘位ヲ希望ス）手取

リ九十五六円（三分ノ手数料ヲ含ム）

四、現金引渡シハ上海

五、担保ハ江西省税收入（實際ハ田賦或ハ塩税ノミニテ充

分）

右ニ対スル台銀本店ノ意向ヲ確メタル上郡島ハ再ヒ南昌ニ帰リ具体的ニ商談ヲ進行セシムル事ニ話合ヒ居リ候

右大略往電第十号及第十二号ヲ以テ及報告候ヘ其尚手数料ニ関スル説明電報ノ必要有之候ハ、可然御打電相成様致度

尚江西省税收入ハ三月五日附漢公第五六号及別信報告候參照相成度候 敬具

右ニ対スル台銀本店ノ意向ヲ確メタル上郡島ハ再ヒ南昌ニ

帰リ具体的ニ商談ヲ進行セシムル事ニ話合ヒ居リ候

右大略往電第十号及第十二号ヲ以テ及報告候ヘ其尚手数料ニ関スル説明電報ノ必要有之候ハ、可然御打電相成様致度

尚江西省税收入ハ三月五日附漢公第五六号及別信報告候參照相成度候 敬具

（二）

機密第三二号

大正二年五月十一日

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

総領事 芳沢謙吉殿

写

右申進候 敬具

故ニ此際當方ニ於テハ本件借款ヲ成立セシメント欲セハ右ノ点ヲ考量シ政治的意味ヲ露ハササル事必要ト存候

右申進候 敬具

ノ点ヲ考量シ政治的意味ヲ露ハササル事必要ト存候

右申進候 敬具

（二）

六七〇

五月十五日 在漢口芳沢總領事ヨリ

牧野外務大臣宛

江西都督府ノ東亞興業ニ対スル態度ニ關シハ

木書記生ヨリノ來信送付ノ件

密第三三号写

江西都督府ノ東亞興業会社ニ対スル態度ニ關スル件

スル件

（六月四日接受）

本件ニ關シ在九江八木書記生ヨリ別紙写ノ通リ報告ニ接シ

候ニ付同寫御参考迄茲ニ差進候間御查閱相成度尙ホ同信末

段ノ東亞興業会社ニ対スル江西都督府民政厅代理彭程万ノ感情融和方ニ關シテハ折好ク同会社々長古市公威氏目下滞

漢中ニ付本官ヨリ委細相伝ヘ置候間左様御承知相成度別紙

相添ヘ此段申進候 敬具

追テ本信写伊集院公使ヘ送付致置候此段申添候也

之ヲ避ケントスルハ當然ノ態度ニ有之候

写

機密第三三号

大正一年五月十三日

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

総領事 芳沢謙吉殿

江西都督府ノ東亞興業会社ニ対スル態度ニ關スル件

南萍鉄道及都督府借款ニ関シ都督府側ガ東亞興業会社ト関係スルヲ嫌ヒ居る趣ハ往電第十号中及御報告置候處其内情ハ左ノ通リニ有之候

昨年南潯鉄路借款ニ關シ李都督ハ彭程万ヲ鐵路總監ニ任シ中央ヨリ借款許可ヲ得ル為メ北京ニモ往復サセ彭ハ内部ニ在テ大ニ尽力スル所アリタルニ拘ハラズ鐵路公司總協理ニ彈劾サレ又上海ニアル東亞興業代表者及我官憲ヨリモ輕蔑サレ愈應覽ノ調停ニヨリ纔ニ回払金問題ヲ落着セシメタルモ彭ハ全ク其面目ヲ失ヒ辭職スルノ余義ナキニ立至リタリ、故ニ流石好人物ナル彭モ當時ハ大ニ憤慨シ其際江西ニ

機会ヲ以テ彭ノ東亞興業ニ対スル悪感ヲ和グルニ努メラレ度旨御注意相成様致度候
尚彭ガ南潯鉄道ヲ逐ハレタル當時ノ事情ハ客年十月二十三日附漢公第一八五号拙信御参照相成度候
右申進候 敬具

六七一 五月二十三日 在漢口芳沢總領事(電報)

台灣銀行江西借款ノ交渉案ニ關スル件

第八三号

往電第七七号ニ關シ八木來信ニ依レバ郡島ハ左ノ三案ヲ携ヘテ南昌ニ帰リタル由

(一)都督府ヲシテ本借款ニ対シ北京政府ノ承認ヲ得セシムルコト
(二)南潯鉄道ノ名義ヲ以テ借款セシムルコト
(三)民国銀行ヲシテ借主タランメ江西省ニ於ケル紙幣發行権ヲ担保トシ都督ヲシテ查証セシメ別ニ鉄道借款ノ優先権ヲ

六七二 五月二十五日 在漢口芳沢總領事(電報)

上海ニ於テ商議ノ江西借款ニ關シ問合ノ件

六七一 五月二十三日 在漢口芳沢總領事(電報)

上海ニ於テ商議ノ江西借款ニ關シ上海ニ於テ商議ノ件

第八三号

八木ヨリ別電第二十二号ノ通來電アリタルニ付在上海總領事ニ左ノ通電報シタリ

第二〇〇号

目下南昌ニ於テ高田商會員郡島ノ手ヲ經テ台灣銀行ヨリ江西都督ニ對スル借款ニ關シ商議中ナルトコロ貴地ニ於テモ白岩江崎ヨリ黃興ヲ介シテ江西ニ對スル借款商議ヲ開始シタル趣右ハ如何ナル性質ノ借款ナリヤ万一同目

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六七一 六七二

来游シタル孫汶ニ対シ大ニ東亞興業ノ不信ト鐵路公司役員ノ非行トヲ告ゲ将来江西省ノ鐵道政策ニ關シ意見ヲ述ヘタル事アリ、其後彭ハ郷里広信府ニ帰省シ居リシガ李都督及

都督府当局ハ大ニ彭ノ心事ヲ諒トシ趙協理ヲ除キ(趙ハ彭ノ同情者ナリ)南潯鐵道役員ヲ惡ミ居ルヲ以テ過般來再び彭ヲ用ヒテ萍鄉炭礮問題其他ノ衝ニ当ラセタルガ遂ニ今般江西民政代理ニ任シ當省民政ノ首班ニ挙ゲタリ

俞ハ李都督ト親戚關係アリ軍務司長タルト共ニ副都督ノ格ヲ有シ諸般ノ事項ニ容喙シ居ルモ今回ノ借款談ニ付テハ民政長タル彭ノ意向ヲ顧ミ可成東亞興業ヲ避ケントシ居ルモノニ有之候

郡島ハ東亞興業南昌通信員ヲ嘱托サレ居ルニ付東亞興業ヲ主張シタルモ俞ハ都督府内ニ反対者アリ都合惡シキ旨答へタル由ニ候

小官ハ彭トハ掛違ヒ未タ面会致サズ候ヘ共同人ハ原来好人物ナル様ニテ敵少ク本邦留学生タル關係モアリ當方ノ態度ニヨリテハ其感情ヲ融和スル事容易ナリト存候就テハ今般古市博士南昌ニ赴カルル由ニ付其辺ノ事情小官ヨリ詳シク申述ヅベク候ヘ共尚貴官ヨリモ同博士ニ対シ此ノ見込ナリ委細公信

七 華中及華南鉄道交渉ニ関スル件 六七三 六七四

的ノモノナリトセハ可成一ヶ所ニ於テ商議ヲ進ムル方得策ナリト思考スルニ付御取調ノ上御返電アリタク尚返電ハ大臣ニモ電報アリタシ

(別電)

五月二十五日芳沢総領事発牧野外務大臣宛電報(八木ヨリ芳沢宛電報第一二号)

江西借款ニ關シ上海ニ於テ商議ノ件

第八八号

別電第二二号

台灣銀行上海來電ノ要点ハ白岩江崎等ハ上海ニ於テ黃興ヲ介シテ江西省ニ對スル借款協議ヲ始メタルカ如シ郡島ヨリハ渝ト交渉ヲ進行中ナル旨電報アリタルニ付此際上海ヨリ牽制セサルヲ得策ナリト思考ス

六七三 五月二十七日

在上海有吉總領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

第九八号

上海ニ於テ江西借款ニ關与ノ件

芳沢總領事宛電報左ノ通り

貴電第二〇号ニ關シ白岩ニ確メタル処當初黃興ヨリ依頼ア

大正二年五月二十七日
(附屬書一)

五月二十一日午後五時半發電
漢口古市氏宛電文

台灣銀行ニテ南萍鐵路借款交渉中ナルモ此際南萍鐵路トシ

テハ外部ノ關係上出来サル事情アレバ南潯鐵道延長統借款

トシテ貸ス方法考案中御含ミ願フト伝ヘ方台灣銀行ヨリ依頼セラレタリ 門野

(附屬書二)

五月二十三日午後五時半發電
上海白岩氏宛電文

電見タ江西借款ノ件ニ就キ日本政府ハ貸出ノ意アリ台灣銀行ニ内命シ尽力中然シ外務省ハ予メ支那中央政府ノ承認ヲ

得ル事ヲ必要トスルモ此際困難ト思ハレルニ付南潯鐵道統借款トシ南萍鐵路ヲ南潯鐵路ノ經營トシ置キ将来分離スル

時ハ其統借款ヲ南萍鐵路ニ引繼クコトヲ明記シ中央政府ノ認可ヲ得シテ成立セシムル方法ナイカニ就キ台灣銀行ヨリ

九江支店ニ打電郡島ヨリ都督ヘ交渉中其含ニテ孫逸仙黃興モ尽力スル様伝ヘヨ、孫逸仙黃興ニハ日本官民皆同情スル

七六四

リ次テ省議会ノ決議アリタル趣ニテ都督ヨリ全權委員トシテ劉黃兩人會見ヲ求メ来レル結果交渉ニ關与シシツアルモノナリトノコトナリ不取敢電報ス

六七四 五月二十七日 大倉組門野重九郎ヨリ
阿部政務局長宛

南潯鐵道借款ハ南潯鐵道延長統借款ノ名義ト

シ交渉方ニ關スル件

附屬書一 五月二十一日門野發古市宛電報

二 五月二十三日門野發白岩宛電報

三 五月二十六日白岩發門野返電

外務省

阿部政務局長殿

謹啓

江西借款ニ關スル上海宛電報可供貴覽旨台銀山成氏ヘ御申伝ノ趣敬承仕リ候別紙參通差上申候間御参照可被下候、古市氏宛ノ分ニ對シテハ別ニ返電ニ接セス候モ白岩氏宛之分今朝返電ニ接シ候ニ付御参考之為メ御同送申上候 敬具

門野重九郎(印)

事情通報ノ件

七 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 六七五

六七五 五月二十八日 牧野外務大臣ヨリ
在上海有吉總領事宛(電報)

江西借款ニ關シ上海ニテ交渉ヲ為スニ至レル

事情通報ノ件

七六五

七 華中及華南鐵道交渉ニ闇スル件 六七六

第四〇号

貴官宛芳沢発電第一〇号ニ闇シ

關係者ニ問合セタルニ本件借款ハ之ヲ南潯鐵道借款ノ続借ト為サントスル話モアリタルコトテ台灣銀行側ヨリ本件成行ヲ東亜ノ白岩ニ通ジ為ニ白岩ハ上海ニテ有力者側ヲ通ジ本件交渉ヲ援助シツツアルモノニ付其間行違ヲ生スル虞ナキ趣ナルガ南北ノ政争ニ顧ミ本借款ノ如キハ極メテ慎重ナル注意ヲ要スルハ勿論ノ義ニ有之從テ若シ先方カ南方側軍資ニ供スル考ヲ以テ話ヲ進メ来ル場合ニ条件ヲ曖昧ニスルハ甚面白カラズ又斯ル場合ニ我方ヨリ強テ本借款ノ話ヲ進ムルコトモ亦好マシカラサルニ付此点ハ白岩等ニモ十分御注意置アリ度シ

本電芳沢ニ転電シ八木ニモ右ノ趣注意シ置ク様附記アリ度シ

シ

六七六 五月二十八日 在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛（電報）

江西借款交渉ヲ南昌ニ於テ進行方稟請ノ件

別電 同日芳沢總領事堀牧野外務大臣宛電報第九六号
南潯鐵道省辦案省議会通過及借款ニ闇スル件

（別電）
五月二十八日芳沢總領事堀牧野外務大臣宛電報

南潯鐵道省辦案省議会通過及借款ニ闇スル件

第九六号別電

郡島ヨリ左ノ通電報アリ

南潯鐵道省辦案今般省議会ヲ通過シタリ借款ハ鐵道ニ貸増ノ手続ニテ承諾シタル額ヲ貸サレタシ貸手ハ台灣銀行、借

主ハ民間銀行トナシ議會議長ト都督保証ス、利子七分五厘、手取九十八円、期限五年、株券買取市場救濟及工事費ニ用ユヘシ

至急返電アリタシ

六七七 五月二十九日 在漢口芳沢總領事堀牧野外務大臣宛（電報）

南潯鐵道省辦案二閥連シ問合ノ件

第三九号

貴電第九六号ニ闇シ

省辦案ト中央政府トノ關係及南潯會社トノ交渉成行及其債務ノ処置如何同鐵道ニ對シテハ東亜ノ借款其他利害ノ闇スル所謬カラサルニ付詳細取調郵報アレ

（附屬書一）
五月二十八日門野發在上海白岩宛電文

江西鐵道借款ノ件ニ付九江上海兩地ニ於テ交渉致シ居リ候へ共行違ヲ起スノ恐レ有之候ニ付柳生氏ト協議ノ上昨廿八日白岩氏ニ向ケ別紙ノ通り架電仕候間御了承被下度候也

大正二年五月二十九日

（附屬書二）
五月二十九日在上海白岩發門野宛電文

江西鐵道借款交涉地ニ闇スル件
附屬書一 五月二十八日門野發在上海白岩東亜興業取

同右件

二 五月二十九日白岩發門野宛電文

同右件

門野重九郎

七 華中及華南鐵道交渉ニ闇スル件 六七七 六七八

第九五号

七六六

往電第八七号ニ闇シ五月二十七日八木來電ニ依レハ諸種ノ不利益アルニ付目下交渉中ノ件纏ル迄上海ニ於ケル交渉ヲ見合ハス様命令アリタキ旨長文ノ電報郡島ヨリ八木ニ達シタル趣ノ處本日在上海總領事來電ニ依リ同地ニ於テモ白岩ト江西都督代表者トノ間ニ同種類ノ交渉適法ニ行ハレツツアルコトヲ確知シタルカ尚本日更ニ別電第九六号ノ通八木ヨリ來電アリ本件ハ既ニ南昌ニ於テ直接當局者ト郡島トノ間ニ交渉ヲ進メ居ル次第ニテ是迄本件進捗ノ成行ニヨリ差支ナキ限り南昌ニ於テ商議ヲ進ムルコトト致度ニ付閣下ニ於テ御同感ナルニ於テハ右郡島ノ申出ヲ御採用ノ上相當御措置アランコトヲ希望ス

七 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 六七九 六八〇 六八一

六七九 六月一日 在漢口芳沢總領事ヨリ

牧野外務大臣宛(電報)

台灣銀行借款ノ商議ハ南昌ニ於テ続行スルヲ

可トスル件

第一〇三号

有吉宛貴電第四〇号ニ閑シ五月三十日九江台灣銀行來電ニ
依レハ白岩等ハ孫黃ヲ援クル意味ニテ商議ヲ上海ニ移ス様
運動セルモノナル旨八木ヨリ來電アリタル處上海南昌兩地

ニ於テ商議ヲ為スハ勿論貸手ノ随意ナルヘキモ上海ニ於ケ
ル白岩江崎ノ借款商議ハ全ク黃興等ニ援助ヲ與ヘタシトノ
精神ニ出テタルモノニシテ(此事ハ江崎ヨリ草刈宛書面ニ
明記シアリ)南昌ニ於ケル商議トハ其由来ヲ異ニスルヲ以
テ上海ニ於ケル商議ヲ続行スルノ可否ハ別問題トスルモノ南
昌ニ於ケル商議ハ之ヲ上海ニ移ス理由ナキノミナラス第一
本件借款ノ商議ハ一ヶ所ニ於テ之ヲ為スコト勿論得策ナル
コト第二一ヶ所トスレハ南昌ノ方都督府所在地ニシテ交渉
上便利ナルコト第三黃興等ニ援助ヲ與フルコトハ別ニ考慮
スルコトトシ本件ハ飽迄企業的性質ノモノト為スコトヲ得
策トスルコトノ三理由ニ因リ南昌ニ於テ商議ヲ為サシメ可

コト第二一ヶ所トスレハ南昌ノ方都督府所在地ニシテ交渉

上便利ナルコト第三黃興等ニ援助ヲ與フルコトハ別ニ考慮

スルコトトシ本件ハ飽迄企業的性質ノモノト為スコトヲ得

策トスルコトノ三理由ニ因リ南昌ニ於テ商議ヲ為サシメ可

貴電第一〇三号ニ閑シ

往電三八号ノ通り台灣銀行ニ注意ノ結果同行ヨリ上海ニ電
報シ白岩ハ手ヲ引ク旨既ニ返電アリタリ尚政府ハ借款ヲ以
テ党争ヲ援クルカ如キ意思毫モ之ナキノミナラズ此ノ如キ
ハ帝國政府ノ方針ニ反スルモノナルヲ以テ本電ヲ貴電ト共
ニ有吉ニ転電シ白岩殊ニ台銀ノ江崎ヘ注意セシム様取計
ハレタシ

六八一 六月四日 大倉組門野重九郎ヨリ

江西都督代表ハ南萍借款ニ閑シ上海ニ於テ文

涉シ度キ旨白岩等ニ申込ノ件

附屬書 六月三日白岩東亞興業取締役発大倉組宛電報
同右件

大倉組

門野重九郎

外務省

阿部政務局長殿

謹啓

別紙上海白岩氏ヨリノ來電供貴覽候 敬具

追テ本件ニ付テハ拝姿親シク可得貴意考ヘ居リ候モ繁用
不得其意不取敢別紙入貴覽置候也

大正二年六月四日

(附屬書)

在上海白岩氏ヨリ大倉組宛來電

六月三日午後五時發信

九時受信

昨夕黃興ノ宅ニテ孫逸仙黃興及ビ江西代表式名ト當方江崎

川本自分三名招カレ李都督ヨリ孫逸仙黃興宛南萍借款依頼

ノ電信及ビ代表ヘノ李都督ノ委任状ヲ示シタリ

七 華中及華南鐵道交渉ニ閑スル件 六八一

七六八

然ト認メラルニ付テハ場合ニ依リ白岩江崎南昌ニ來リ本
件成立ニ尽力スル方得策ナリト思考ス御同意ナルニ於テハ
台灣銀行ニ可然御説示アリタシ

六八〇 六月一日 在漢口芳沢總領事宛(電報)

江西借款交渉ヨリ在上海白岩東亞興業取締役
ハ手ヲ引キタル件

第四〇号

江西借款交渉ヨリ在上海白岩東亞興業取締役
ハ手ヲ引キタル件

貴電第一〇三号ニ閑シ

往電三八号ノ通り台灣銀行ニ注意ノ結果同行ヨリ上海ニ電

報シ白岩ハ手ヲ引ク旨既ニ返電アリタリ尚政府ハ借款ヲ以

テ党争ヲ援クルカ如キ意思毫モ之ナキノミナラズ此ノ如キ

ハ帝國政府ノ方針ニ反スルモノナルヲ以テ本電ヲ貴電ト共

ニ有吉ニ転電シ白岩殊ニ台銀ノ江崎ヘ注意セシム様取計

ハレタシ

六八一 六月四日 阿部政務局長宛

江西都督代表ハ南萍借款ニ閑シ上海ニ於テ文

涉シ度キ旨白岩等ニ申込ノ件

以上至急日本側ノ承諾ヲ得度ト熱心ニ依頼セラレタリ、當

方ハ九江南昌ニテ現ニ東京ト交渉中ナルコトヲ述ベタルニ

先方ハ南萍借款ハ其交渉ト關係ナク都督ヨリ當方ヘ全權委

任シ居ル故委細打合セ當地ニテ交渉決定シタシト申出セリ

尚當方ヨリ為念前述条件ノ外常玉線及江西全省鐵道布設ニ

対スル優先權利ヲ別ノ約定トシテ吳爾コト出来ルカト聞

キタルニ先方ハ差支ナント答ヘタリ

孫逸仙黃興ハ時局ヲ平和ニ解決ノ考ナルモ多少ノ準備ヲ為
シ置ク為メ此借款ヲ急キ成立セシメ度希望ニテ懇々依頼ア

七六九

七 華中及華南鉄道交渉ニ関スル件 六八二 六八三 六八四

リタリ此際孫逸仙黃興等ニ多少ノ同情ヲ示シ吾ガ對南方經濟政策ノ助ケトナスト同時ニ兼テ吾政府ノ大方針タル江西ニ於テノ根本政策ヲ確立スルニハ得難キ好機会ナリト思フ故ニ貴方ニテ政府側ニ充分御尽力ノ上先方ノ依頼ニ応ジ急キ交渉ヲ進メテハ如何柳生氏ニ知ラセ

六八二 六月六日

牧野外務大臣ヨリ
在漢口芳沢總領事宛（電報）

南潯鐵道省辦案及南萍鐵道借款ニ關シ取調方

訓令ノ件

第四一号

往電第三九号省辦案ハ南潯鐵道公社側ニテ已ニ承諾セシモノナルヤ又同案ハ真ニ省議会ヲ通過セシヤ電報アリ度尚六

月二日李都督ヨリ孫黃ヲ通ジ上海白岩等ヘ千万円ノ南萍借款斡旋方依頼アリ右ハ貴地ニ於テ交渉中ノ借款談トハ無関

係ナル趣ノ処果シテ然ルヤ取調ヘ電報アリ度シ

往電第三九号省辦案ハ南潯鐵道公社側ニテ已ニ承諾セシモノナルヤ又同案ハ真ニ省議会ヲ通過セシヤ電報アリ度尚六

月二日李都督ヨリ孫黃ヲ通ジ上海白岩等ヘ千万円ノ南萍借款斡旋方依頼アリ右ハ貴地ニ於テ交渉中ノ借款談トハ無関

係ナル趣ノ処果シテ然ルヤ取調ヘ電報アリ度シ

六八三 六月七日

在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛（電報）

南潯鐵道省辦案ハ省議会ヲ通過ノ旨回電ノ件

第一二三号

進メテ南萍トノ関係ヲモ附ケ置カント尽力中白岩等黃興ヲ

介シテ南萍借款商議ヲ始メタルニ付都督ハ在上海黃^(マ)（黃興ト親シキ者）ニ南萍借款ノ委任ヲ発シタルモ黃ハ白岩等

ノ手ヲ引キタル為更ニ篠崎ニ持込ミタルモノナラン元來本件二口ノ借款ハ別口ニハ相違ナキモ兩者ノ由来ニハ往電第六八号記載ノ如キ關係アリ然ルニ上海ニ於テ南萍ニ關スル

商議ヲ独立ニ進ムルニ於テハ南昌ニ於ケル商議ニ於テ都督府側カ南萍線等ニ關スル我方ノ希望ヲ容レサルヘキハ勿論ニテ殊ニ借り人ノ立場ヨリ言へハ上海ト南昌ニ於テ同時ニ交渉ヲ進ムルニ於テハ貸主ヲ操り条件ヲ輕カラシム利益アリ旁南昌ニ於ケル商議力上海ニ於ケル商議ニ依リ多大ノ影響ヲ受クルコト申上クル迄モナク八木ノ來信ニ依レハ白岩等ハ手ヲ引クト称スルモ不得要領ノ裡ニ其併ト為シ置ク底意ナルカ如ントノコトナリ貴電^(註)篠崎トハ如何ナル人物ニシテ背後資本家ハ如何ナル銀行ナリヤ御差支ナキ限り御電示ヲ請フ

註 六月九日芳沢總領事宛電報第四二号ニテ牧野外務大臣宛（電報）

電第四一号ニハ篠崎ナル文字ナシ右ハ白岩等トアルノ誤ナルベシ」ト云ヘリ

七七〇

貴電第四一号前段ニ關シ八木ヨリノ報告ニ依レハ（八木ヨリハ二回報告シタルカ右ハ御電訓ニ依リ郵報シ置キタリ）

省辦案ハ五月廿日省議会本會議ニ於テ可決サレタルモノナルニ鉄道公社ハ省辦問題ニ付議會及都督府ヨリ未タ何等交渉ヲモ受ケサルガ大株主ノ多數ハ大体本件ニ異議ナカルヘ

ク而シテ省辦案ハ既ニ省議会ヲ通過シタルニ相違ナキモ其實行方ニ付テハ会社トノ間ニ種々協議決定スヘキモノアリ

テ其引繼迄ニハ今後尚多少時日ヲ要スヘシトナリ尚貴電後段ニ關シテハ八木ヘ相当電訓シ置キタルニ付取調ノ結果判明次第電報スヘシ

六八四 六月八日

在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛（電報）

南萍鐵道借款交渉ハ上海ニ於テ依然行ハレ居

ル旨報告ノ件

第一一五号

往電第一一三号末段ニ關シ往電第六三号並ニ第六八号報告ノ通り都督府側ヨリハ南萍借款ト所謂台灣銀行借款トノ二口申込ミ来レルモノナルモ我方ヨリ南萍ノ方ハ後廻ハシト

ナシ（台灣銀行借款ニ關スル貴電第三三号並ニ機密五七号貴信御訓示ノ次第モアリ）差向キ台灣銀行借款ノ方ノ話ヲ

機密第一〇七号

六月十四日

在漢口芳沢總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

南萍鐵道借款交渉ニ關スル在上海江西都督府

代表委員ニ關スル件

附屬書

六月十日附在九江八木書記生ヨリ芳沢總領事

宛機密第四八号

同右件

機密第一〇七号

（六月二十五日接受）

大正二年六月十四日

在漢口

上海ニ於ケル南萍線借款委員ニ關スル件

總領事 芳 沢 謙 吉（印）

外務大臣男爵 牧野伸頭殿

本件ニ關シ往電第一一五号中申進置候次第有之候處其後八木書記生ヨリ別紙写ノ通リ報告ニ接シ候ニ付右茲ニ及御送付候間委細右ニテ御承知相成度此段申進候 敬具

追テ別紙写上海有吉總領事ニモ送付致置候此段申添候也

（附屬書）

機密第四八号

七 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 六八六

大正二年六月十日

在九江

外務書記生 八木元八

模英國當局ニ懇談方訓令ノ件

在漢口

李都督任命ノ借款委員ニ關スル件

総領事 芳沢謙吉殿

李都督方南萍線借款ノ為メ在上海ノ黃顧問官ヲ委員ニ任ス

ル電報ヲ發シタル趣ハ往電第三三号及機密第四六号拙信中及御報告置候處其後取調ベタル處ニヨレバ李都督ハ當地ノ

師團長歐陽武ヲ經テ在上海ノ黃緝熙及劉輝橋二名ニ對シ南

萍借款商議ノ委員ニ任ズル電報ヲ發シ其後都督ヨリ委任状

ヲ發シタル趣ナリ、黃緝熙ハ南昌淮鹽局總辦ニシテ都督府顧問官タリ黃興ト親交アリ、劉ハ軍人出身ニシテ都督ノ用

務ヲ以テ上海ニ滯在シ居ルモノナル由ニ候

右両名ノ任命ヲ促シタル白岩、江崎両氏ハ借款談ヨリ手ヲ

引ク事トナリタルモ黃等ハ右任命ノ取消サレサル限り諸方面ニ借款談ヲ持廻ル可ク南昌ノ協議ハ容易ニ纏ル間敷ト存

候

右及報告候 敬具

局ヘ至急懇談其結果御回報相成度シ

二 常玉鉄道

(附屬書)

漢公第八八号

写

六八七 四月十日 在漢口芳沢

總領事宛漢公第八八号写

牧野伸頭殿

湯寿潛及江西都督府間ニ調印ノ「浙贛常玉路

約」ニ付報告ノ件

附屬書 四月三日附在九江八木書記生ヨリ在漢口芳沢

總領事宛漢公第八八号写

常玉鉄道契約成立ノ件

在漢口

大正二年四月三日

在九江

外務書記生 八木元八

公信第一二六号

(四月二十一日接受)

大正二年四月十日

在漢口

総領事 芳沢謙吉(印)

外務大臣男爵

牧野伸頭殿

本件ニ關シ在九江八木書記生ヨリ別紙写ノ通リ報告ニ接シ

候ニ付御参考迄右茲ニ差進候条委細右ニテ御了承相成候様致度別紙相添ヘ此段申進候 敬具

追而本信写伊集院公使並ニ在杭州深沢領事館事務代理ニ送付致置候此段申添候也

七 華中及華南鐵道交渉ニ關スル件 六八七

七七二

六八六 八月十八日

在英國井上大使宛 (電報)

南萍鐵道借款ニ關シ我方単独交渉ヲ承諾スル

第一三九号

往電第一三七号ニ關シ

(一)寧湘線問題ハ七月一日付機密送第八三号ニテ御承知ノ通り当初「メーヤース」ヨリ我方ニ話合アリタルニ非ズシテ

小田切直接支那側ニ開談シタルモノナルコト(二)南萍線ニ付テハ之迄屡々地方的ニモ江西官憲ヨリ交渉ヲ受ケシコトアリ且南潯鐵道並萍鄉炭坑トノ關係上同線ハ我方ト特殊ノ關係ヲ有スルコト(三)南萍線ト英國側トノ關係ハ滬杭甬線資金問題ノ一点ノミナル處同線国有實行ノ暁ハ右資金ヲ南萍線ニ流用ノコトハ自然沙汰止ト成ルベキコト(四)日本側ヨリ單獨ニテ交渉セントスルハ目下ノ必要上便宜ノ処置ニシテ後日英國側參加ノ余地ヲ残スコトハ我方ニテ勿論異存ナキコトノ四点ヲ特ニ指摘シ其他往電第一三七号ノ趣ヲ適宜取捨説明セラレ英國政府及 British & Chinese Corporation に於テ差当リ我方単獨ニテ支那側ヘ交渉方承諾スル様英國當

一、本路ハ浙贛常玉鐵路公司ト定名ス